



令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)

設計書

工事番号 2023069900

---

工事名 令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事  
(1)

---

施工場所 加東市吉馬地内ほか

---

---



# 総括情報表

単価適用年月日	0-05.05.01(0)		
工種区分 (公共) 施工地域区分	今 回 15 下水道 (2) 35 一般交通影響有り (2) - 2	前 回	

# 工事費内訳書

頁0-0002/0122

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路						
管きよ工 (管径200mm)						
管路土工						
管路掘削						
床掘り 土砂 上記以外(小規模)		50	m3			施工 第0-0001号内訳表
機械掘削工；バックホ		530	m3			施工 第0-0002号内訳表
機械掘削工；バックホ		600	m3			施工 第0-0004号内訳表
管路埋戻						

# 工事費内訳書

頁0-0003/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
機械埋戻工 土留なし	30		m3						施工	第0-0006号内訳表
;機械投入;埋戻工 再生切込砕石	410		m3						施工	第0-0008号内訳表
;機械投入;埋戻工 再生切込砕石	500		m3						施工	第0-0010号内訳表
発生土処理										
土砂等運搬;(小規模) 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) ;DID区間->無し L=1.0km以下	40		m3						施工	第0-0011号内訳表
;ダンプトラック;運搬 土砂 ;運搬距離0.4km路面:良好DID無	500		m3						施工	第0-0012号内訳表
ダンプトラック運搬・処分 運搬距離9.0km路面:良好DID有 4t/BH0.28	30		m3						施工	第0-0014号内訳表
ダンプトラック運搬・処分 運搬距離9.0km路面:良好DID有 4t/BH0.45	600		m3						施工	第0-0017号内訳表
ダンプトラック運搬・処分 運搬距離9.0km路面:良好DID有 小規模	7		m3						施工	第0-0019号内訳表





# 工事費内訳書

頁0-0006/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
No. 0 H=2.230m	1		箇所			施工 第0-0031号内訳表
No. 1 H=1.751m	1		箇所			施工 第0-0037号内訳表
No. 2 H=1.727m	1		箇所			施工 第0-0038号内訳表
No. 3 H=1.614m	1		箇所			施工 第0-0039号内訳表
No. 4 H=1.276m	1		箇所			施工 第0-0040号内訳表
No. 5 H=2.274m	1		箇所			施工 第0-0041号内訳表
No. 7 H=2.902m	1		箇所			施工 第0-0042号内訳表



# 工事費内訳書

頁0-0007/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
No. 8 H=3.304m	1		箇所			施工 第0-0043号内訳表
No. 9 H=3.394m	1		箇所			施工 第0-0045号内訳表
No. 10 H=3.194m	1		箇所			施工 第0-0046号内訳表
No. 11 H=2.844m	1		箇所			施工 第0-0047号内訳表
内副管						
内副管取付工	2		箇所			施工 第0-0048号内訳表
既設人孔改造工						
インバート改造工 No. 12	1		箇所			施工 第0-0050号内訳表
既設人孔削孔工 φ200	1		箇所			施工 第0-0055号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0008/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型マンホール工						
小型マンホール						
小型マンホール設置工 起点および中間形式(KT・ST・L・DR), 鋳鉄製防 護蓋 設置あり	1		箇所			施工 第0-0057号内訳表
付帯工						
既設管充填						
注入工						
エアーミルク φ200	6		m3			施工 第0-0058号内訳表
モルタル閉塞 φ200	12		箇所			施工 第0-0060号内訳表
空気抜き管 φ50	12		箇所			施工 第0-0061号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0009/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル閉塞 φ150	1		箇所			施工 第0-0064号内訳表
既設人孔撤去						
既設構造物撤去工						
構造物とりこわし工；[機械施工] 無筋構造物	0.8		m3			施工 第0-0065号内訳表
鉄蓋撤去工(円形4号 内径600)	5		個			施工 第0-0066号内訳表
硬質塩化ビニル管 撤去 呼び径 300mm	3		m			施工 第0-0067号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ300mm	2		口			施工 第0-0068号内訳表
塩ビマンホール撤去 200-300KT	1		基			施工 第0-0069号内訳表
硬質塩化ビニル管 撤去 呼び径 200mm	0.3		m			施工 第0-0070号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0010/0122

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ200mm	1	口			施工 第0-0071号内訳表
鉄蓋撤去工(円形2号 内径350)	3	個			施工 第0-0072号内訳表
コンクリートガラ運搬・処分	0.8	m3			施工 第0-0052号内訳表
廃プラスチック運搬・処分	0.05	t			施工 第0-0073号内訳表
舗装版破碎工					
舗装版切断					
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	837	m			施工 第0-0075号内訳表
舗装版破碎					
舗装版破碎(アスファルト舗装版) ; 障害->無し ; 撤去厚->15cm以下	444	m2			施工 第0-0076号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0011/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬処理						
殻運搬・処分 As殻 DID区間無し L=11.5km以下	22		m3			施工 第0-0077号内訳表
舗装仮復旧工						
上層路盤(車道・路肩部)						
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 150mm	446		m2			施工 第0-0080号内訳表
表層(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13) ; (2.35)	446		m2			施工 第0-0081号内訳表
舗装本復旧工						
舗装版破碎工						

# 工事費内訳書

頁0-0012/0122

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断					
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	191	m			施工 第0-0075号内訳表
舗装版破碎					
舗装版破碎(アスファルト舗装版) ; 障害->無し ; 撤去厚->15cm以下	2,300	m2			施工 第0-0076号内訳表
殻運搬処理					
殻運搬・処分 As殻 DID区間無し L=11.5km以下	115	m3			施工 第0-0077号内訳表
舗装復旧工					
不陸整正					
不陸整正 補足材料->有り(29mm以上34mm未満) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40	2,300	m2			施工 第0-0082号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0013/0122

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部)					
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13) ; (2.35)	2,300	m <sup>2</sup>			施工 第0-0083号内訳表
区画線工					
融融式区画線					
区画線設置 [融融式] 実線 15cm t=1.5mm	843	m			施工 第0-0084号内訳表
区画線設置 [融融式] 破線 15cm t=1.5mm	10	m			施工 第0-0087号内訳表
区画線設置 [融融式] 実線 30cm t=1.5mm	13	m			施工 第0-0090号内訳表
区画線設置 [融融式] 実線 45cm t=1.5mm	6	m			施工 第0-0093号内訳表
区画線設置 [融融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	9	m			施工 第0-0096号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0014/0122

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	仮設工					
	交通管理工					
	交通誘導警備員					
	交通誘導警備員 B					
		262	人日			施工 第0-0099号内訳表
	直接工事費計					
	共通仮設費計					
	運搬費					
	仮設材運搬費		式			
			式			
	仮設材等の運搬 製品長->12m以内 ; 運搬距離 4. 1 km					
		6.5	t			施工 第0-0100号内訳表



# 工事費内訳書

頁0-0015/0122

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等の運搬 製品長->12m以内 ;運搬距離4. 1 km	6.5		t			施工 第0-0100号内訳表
仮設材等の積み込み・取卸し 〔積み込み取卸し(往復分)〕	6.5		t			施工 第0-0101号内訳表
共通仮設費率 分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
スクラップ控除			式			
鉄屑 故銑 B			t			



床掘り  
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0017/0122  
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1		土砂				
B	施工方法	=5		上記以外(小規模)				

# 施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0018/0122

機械掘削工

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 土留の種別 B バックホ規格		=1 =3	たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

100 m3 当り





埋戻し  
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0021/0122  
m3 当り

1

[摘要]

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
K2	タンバ及びランマ 質量60~80kg			タンバ及びランマ [ランマ] 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レキユラー スタント			レキユラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=5	上記以外(小規模)					
B 土質	=1	土砂					

# 施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0022/0122

埋戻工

[規格1]再生切込砕石

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンパ締固め	100.00	m3			施工 第0-0009号内訳表
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類		=6	再生切込砕石		
B 土留の種類		=1	たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		



タンパ締固め  
[規格1]

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

1  
頁0-0023/0122  
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	タンパ及びランマ 質量60~80kg			タンパ (ランマ) 60~80kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	カッソ レギュラー スタンド			レギュラーカッソ			
Z							
				計			
積算単価 =							

# 施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0024/0122

埋戻工

[規格1]再生切込砕石

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンパ締固め	100.00	m3			施工 第0-0009号内訳表
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類		=6	再生切込砕石		
B 土留の種類		=1	たて込み簡易・軽量		
C バックホ規格		=6	鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.45m3 クレーン機能付 2.9t吊		

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

# 積算単価算出表

[ 摘要 ]

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0025/0122

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=1	無し					
E	運搬距離	=4	1.0km以下					

# 施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0026/0122

運搬

[規格1]土砂

[規格2]

[摘要]

10

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運搬 路面：良好		日			
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			
A ダンプトラック・積込機械の規格 B 運搬距離 (km) C 路面状態		=2 =0.4 =1	ダンプ 4t (バックホウ山積) 運搬距離 (km) 路面：良好	0.28m3	
D DID区間		=1	DID無		











# 施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0031/0122

運搬

[規格1]土砂

[規格2]

[摘要]

10

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 路面：良好		日			
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			
A ダンプトラック・積込機械の規格		=1			
B 運搬距離 (km)		=9			
C 路面状態		=1			
D DID区間		=2			

ダンプ 4t (バックホウ山積0.45m3)  
運搬距離 (km)  
路面：良好  
DID有



土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

# 積算単価算出表

[ 摘要 ]

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0033/0122

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=20	9.0km以下					

整地

# 積算単価算出表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0034/0122

[規格1] 作業区分->残土受入れ地での処理

[規格2]

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=1		残土受入れ地での処理				







# 施工単価表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0038/0122

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		



# 施工単価表

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0039/0122

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=4	掘削深 3.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		

# 施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0040/0122

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		時間			
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=5	掘削深 3.5m以下		
C バックホウ規格		=3	バックホウ 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )		

# 施工単価表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0041/0122

軽量鋼矢板建込引抜き工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A 作業種別 B 掘削深 C バックホ規格		=3 =6 =4	建込+引抜き 掘削深 3.8m以下 バックホ 山積0.45m3	クレーン機能付 2.9t吊	





# 施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0044/0122

No. 0

[規格1] H=2.230m

[規格2]

[摘要]

1

箇所  
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1500mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×600mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×150mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ45mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	1	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ150mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ150	1	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表









# 積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=9	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					



モルタル練  
[規格1] 高炉 混合比->1:2

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0050/0122  
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							1	
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			高炉セメント(B種) (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=3	高炉					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=2	1:2					

# 施工単価表

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0051/0122

No. 1

[規格1]H=1.751m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×450mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×150mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

# 施工単価表

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0052/0122

No. 2

[規格1]H=1.727m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×450mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×100mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ45mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	1	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

# 施工単価表

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0053/0122

No. 3

[規格1]H=1.614m

[規格2]

[摘要]

1

箇所  
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×300mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×150mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ150mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ150	1	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表





# 施工単価表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0055/0122

No. 4

[規格1]H=1.276m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×900mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×300mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×100mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ45mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	1	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

# 施工単価表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0056/0122

No. 5

[規格1] H=2.274m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1800mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×450mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×50mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ45mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	1	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号, 1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

# 施工単価表

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0057/0122

No. 7

[規格1]H=2.902m

[規格2]

[摘要]

1

箇所  
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号直壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×450mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×100mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号,1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表



# 施工単価表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0059/0122

No. 8

[規格1] H=3.304m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1500mm	1	個			
1号直壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×600mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×50mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号, 1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m超え4m以下	1	箇所			施工 第0-0044号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表





# 施工単価表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0062/0122

No. 9

[規格1] H=3.394m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1500mm	1	個			
1号直壁 組立式(U型) 900×1500mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×300mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×150mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号, 1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m超え4m以下	1	箇所			施工 第0-0044号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表





# 施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0064/0122

No. 10

[規格1] H=3.194m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1500mm	1	個			
1号直壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×450mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×100mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号, 1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m超え4m以下	1	箇所			施工 第0-0044号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表



# 施工単価表

施工 第0-0047号内訳表

頁0-0066/0122

No. 11

[規格1] H=2.844m

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
1号底版 組立式(U型) 有効高さ130mm	1	個			
1号管取付壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号直壁 組立式(U型) 900×1200mm	1	個			
1号斜壁 組立式(U型) 600×900×450mm	1	個			
調整リング 組立式(U型) 600×50mm	1	個			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ25mmまで	1	組			
無収縮モルタル 25kg	0.5	袋			
マンホール蓋 加東市型Φ600次世代型T25梯子付	1	個			
削孔代 0号, 1号 組立式(U型) φ200mm用 ヒューム管用	1	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管 φ200	2	本			
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0032号内訳表
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表















殻運搬

[規格1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格2]

# 積算単価算出表

[ 摘要 ]

施工 第0-0053号内訳表

頁0-0073/0122

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=1	コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=25	10.9km以下					





コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)  
[規格1] 削孔径φ200用

[規格2] 削孔深さ→50mm以上200mm未満

# 積算単価算出表

施工 第0-0056号内訳表

頁0-0076/0122

[ 摘要 ]

1

孔 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリート穿孔機 φ25cm [電動式コアローリングマシン]			コンクリート穿孔機 [電動式コアローリングマシン] [簡易仕様型] φ25cm			
K2		発動発電機 3kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 3kVA			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		ダイヤモンドビット φ204mm			ダイヤモンドビット 径204.0mm(スタンダード)			
Z2		ガソリン レキユラー スタンド			レキユラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	削孔径	=9	180mm以上200mm以下					
B	削孔深さ	=1	50mm以上200mm未満					



# 施工単価表

施工 第0-0058号内訳表

頁0-0078/0122

エアームルク

[規格1] φ200

[規格2]

[摘要]

3

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
グラウトポンプ [横型単筒] 30～70L/min		日			1
グラウトミキサ [並列2槽式] 200L×2		日			1
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次)] 20/25kVA		日			
充填材料費 エアームルク(1,000KN/m2)		m3			施工 第0-0059号内訳表
諸雑費		%			#01
合計	3	m3			
単位当り	1	m3			





















# 施工単価表

施工 第0-0067号内訳表

頁0-0087/0122

硬質塩化ビニル管 撤去

[規格1]呼び径 300mm

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=2 =14	撤去 呼び径 300mm		

















舗装版切断(アスファルト舗装版)  
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0075号内訳表

頁0-0095/0122

[摘要]

1 m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート 径22インチ			
Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

# 積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.45m3級			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無	=1		無し				
C	騒音振動対策	=1		不要				
D	舗装版厚	=1		15cm以下				
F	積込作業の有無	=1		有り				



殻運搬  
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0078号内訳表

頁0-0098/0122  
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		タンクトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			タンクトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=3	機械(騒音対策不要)	15cm以下				
C	DID区間の有無	=1	無し					
D	運搬距離	=27	11.5km以下					



上層路盤(車道・路肩部)  
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 150mm

# 積算単価算出表

施工 第0-0080号内訳表

頁0-0100/0122  
 m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータロータプレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]				モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]				ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含				タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R2	特殊作業員				特殊作業員			
R3	普通作業員				普通作業員			
R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
R								
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm				粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=3		粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=150		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1		1層施工				

表層(車道・路肩部)  
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

# 積算単価算出表

施工 第0-0081号内訳表

頁0-0101/0122  
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	ガソリン レキユール スタント			レキユールガソリン			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

# 積算単価算出表

施工 第0-0082号内訳表

頁0-0102/0122

[ 摘要 ]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータロータ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生クラッシャーラン RC-40			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	補足材料の有無	=2	有り				
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満				
C	補足材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				



表層(車道・路肩部)  
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

# 積算単価算出表

施工 第0-0083号内訳表

頁0-0103/0122  
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3~6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K3	ロータローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							







# 施工単価表

施工 第0-0086号内訳表

頁0-0107/0122

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り





# 施工単価表

施工 第0-0089号内訳表

頁0-0110/0122

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=5	破線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り







# 施工単価表

施工 第0-0092号内訳表

頁0-0113/0122

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=3	実線30cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

1000 m 当り





# 施工単価表

施工 第0-0095号内訳表

頁0-0116/0122

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=4	実線45cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		







# 施工単価表

施工 第0-0098号内訳表

頁0-0119/0122

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考	1000 m 当り
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg				1
軽油		L				1
諸雑費		%			#01	
合計		m				
単位当り	1	m				
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字			
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装			
C 未供用区間の補正		=1	供用区間			
D 塗布厚		=1	t=1.5mm			
E 塗料区分		=1	白			
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用			







数量総括表

令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)				【当初設計】		事業区分(レハ'ル0)	下水道施設整備
						工事区分(レハ'ル1)	管路
工種(レハ'ル2) 種別(レハ'ル3) 細別(レハ'ル4)	名称	規格(レハ'ル5)	計 算 式		数 量	単 位	摘 要
本工事							
管路							
管きよ工	(VUφ200)						
管路土工							
管路掘削							
	床掘工	(小規模) 土砂	No. 0 45.36	撤去 + 7.89	53.25	50	m <sup>3</sup>
	機械掘削工	BH0.28 土砂 土留有り	524.15	+ 10.57	534.72	530	m <sup>3</sup>
	機械掘削工	BH0.45 土砂 土留有り	606.60		606.60	600	m <sup>3</sup>
管路埋戻							
	埋戻工	(小規模) 再生切込砕石	23.23	+ 11.34	34.57	30	m <sup>3</sup>
	機械埋戻工	BH0.28 (土留有) 再生切込砕石	403.35	+ 8.12	411.47	410	m <sup>3</sup>
	機械埋戻工	BH0.45 (土留有) 再生切込砕石	504.72		504.72	500	m <sup>3</sup>
発生土処理工							
	ダンプトラック運搬	小規模・土砂 DID区間無し・1.0km以下	45.36		45.36	40	m <sup>3</sup>
	ダンプトラック運搬	4tダンプ BH0.28・土砂 DID区間無し・0.4km	503.42		503.42	500	m <sup>3</sup>
	ダンプトラック運搬処分	4tダンプ BH0.28・土砂 DID区間有・9.0km	20.73	+ 10.57	31.30	30	m <sup>3</sup>
	ダンプトラック運搬処分	4tダンプ BH0.45・土砂 DID区間有・9.0km	606.60		606.60	600	m <sup>3</sup>
	ダンプトラック運搬	小規模・土砂 DID区間無し・9.0km以下		7.89	7.89	7	m <sup>3</sup>
	場内整地		548.78		548.78	540	m <sup>3</sup>
管布設工							
硬質塩化ビニル管							
	硬質塩化ビニル管設置工	VU管φ200	389.83		389.83	389	m

数量総括表

工事名		令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)				【当初設計】		事業区分(レ^#0)	下水道施設整備
工種(レ^#2)		名称	規格(レ^#5)	計 算 式			数量	単位	管 路
種別(レ^#3)	細別(レ^#4)								
管基礎工									
砂基礎	砂基礎工：機械投入	機械投入 スクリーニングス		14.24 + 78.37 + 68.40		161.01	161	m <sup>3</sup>	労+材
管路土留工									
軽量鋼矢板土留				No. 0					
	軽量鋼矢板立込引抜工(両)	BH0.28 2.0m		81.30		81.30	81	m	
	軽量鋼矢板立込引抜工(両)	BH0.28 3.0m		25.00 + 2.00		27.00	27	m	
	軽量鋼矢板立込引抜工(両)	BH0.28 3.5m		97.00		97.00	97	m	
	軽量鋼矢板立込引抜工(両)	BH0.45 4.0m		150.00		150.00	150	m	
	土留支保工(設置+撤去)	1段		81.30		81.30	81	m	
	土留支保工(設置+撤去)	2段		272.00 + 2.00		274.00	274	m	
仮設材質料							1	式	
マンホール工									
組立マンホール工									
組立1号マンホール									
	No. 0	MH=2.230					1	箇所	
	No. 1	MH=1.751					1	箇所	
	No. 2	MH=1.727					1	箇所	
	No. 3	MH=1.614					1	箇所	
	No. 4	MH=1.276					1	箇所	
	No. 5	MH=2.274					1	箇所	
	No. 7	MH=2.902					1	箇所	
	No. 8	MH=3.304					1	箇所	

数量総括表

工 事 名	令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)			【当初設計】		事業区分(レ^ #0)	下水道施設整備
	名 称	規格(レ^ #5)	計 算 式	数 量	単 位	工事区分(レ^ #1)	管路
工種(レ^ #2) 種別(レ^ #3) 細別(レ^ #4)							摘 要
	No. 9	MH=3.394			1		箇所
	No. 10	MH=3.194			1		箇所
	No. 11	MH=2.844			1		箇所
内副管							
	内副管取付工	No. 0, No. 3			2		箇所
既設人孔改造工							
	インバート改造工	No. 12			1		箇所
	既設人孔削孔工	No. 12			1		箇所
小型マンホール工							
小型マンホール							
	No. 6	塩ビ製 MH=2.694			1		箇所
付帯工							
既設管充填							
注入工							
	E7-ミルク	φ200	6.89		6	m <sup>3</sup>	L=219.2m
	ミルク閉塞	φ200	12.0		12		箇所
	空気抜き管	φ50	12.0		12		箇所
	ミルク閉塞	φ150	1.0		1		箇所
既設人孔撤去							
既設構造物撤去工							
	既設人孔撤去	Co無筋	0.81		0.8	m <sup>3</sup>	
	鉄ふた撤去	φ600受枠共	5.0		5		個

数量総括表

工事名	令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)				【当初設計】		事業区分(レバ'ル0)	下水道施設整備
	名称	規格(レバ'ル5)	計 算 式		数 量	単 位	工事区分(レバ'ル1)	管路
工種(レバ'ル2) 種別(レバ'ル3) 細別(レバ'ル4)								摘 要
	塩ビマンホール立管撤去	φ300	3.38		3.38	3	m	
	塩ビマンホール切断	φ300	2.0		2.0	2	口	
	塩ビマンホール撤去	200-300KT	1.0		1.0	1	基	
	塩ビ管撤去	φ200	0.30		0.30	0.3	m	
	塩ビ管切断	φ200	1.0		1.0	1	口	
	鉄ふた撤去	φ300受枠共	3.0		3.0	3	個	
	コン殻運搬・処分	Co塊, 無筋 DID区間無・10.9km以下	0.81		0.81	0.8	m <sup>3</sup>	
	廃プラスチック運搬・処分	60.0km以下	0.058		0.058	0.05	t	
舗装破碎工								
舗装版切断								
	舗装版切断	As15cm以下	798.60	+	38.60	837.20	837	m
舗装版破碎								
	舗装版破碎	As15cm以下	432.57	+	12.04	444.61	444	m <sup>2</sup>
殻運搬処理								
	殻運搬・処分	As殻 15cm以下 DID区間無・11.5km以下	21.64	+	0.69	22.33	22	m <sup>3</sup>
舗装仮復旧工								
上層路盤								
	路盤(市道・車道)	粒度調整M-30 t=150	432.57	+	13.75	446.32	446	m <sup>2</sup>
表層								
	表層(市道・車道)	再生密粒度13As t=50	432.57	+	13.75	446.32	446	m <sup>2</sup>



数量総括表

工 事 名	令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)			【当初設計】		事業区分(レハ'ル0)	下水道施設整備
	名称	規格(レハ'ル5)	計 算 式	数 量	単 位	工 事 区 分 (レハ'ル1)	管 路
工種(レハ'ル2) 種別(レハ'ル3) 細別(レハ'ル4)	名 称	規格(レハ'ル5)	計 算 式	数 量	単 位	摘 要	
舗装本復旧工							
舗装撤去工							
舗装版切断							
	舗装版切断	車道 As15cm以下	191.89	191.89	191	m	
舗装版破碎							
	舗装版破碎	車道 As15cm以下	2303.49	2303.49	2,300	m <sup>2</sup>	
殻運搬処理							
	殻運搬・処分	As塊, t=15cm以下 DID区間無・6.5km以下	115.17	115.17	115	m <sup>3</sup>	
舗装本復旧工							
不陸整正							
	不陸整正	粒調碎石M-30 補足材30mm	2303.49	2303.49	2,300	m <sup>2</sup>	
表層							
	表層	プライムコート 再生密粒度13As t=50	2303.49	2303.49	2,300	m <sup>2</sup>	
区画線工							
溶融式区画線							
	区画線設置	路側帯 白15cm(実線)	843.94	843.94	843	m	
	区画線設置	路側帯 白15cm(破線)	10.00	10.00	10	m	
	区画線設置	実線「+」 白30cm(実線)	13.00	13.00	13	m	
	区画線設置	停止線 白45cm(実線)	6.20	6.20	6	m	
	区画線設置	文字・記号 白15cm(換算)	9.60	9.60	9	m	

### 数量総括表

工 事 名	令和5年度 社会資本整備総合交付金事業 上福田北部地区処理場統合整備工事(1)			【当初設計】		事業区分(レ^#0)	下水道施設整備	
工種(レ^#2) 種別(レ^#3) 細別(レ^#4)	名 称	規格(レ^#5)	計 算 式			工事区分(レ^#1)	管路	摘要
						数 量	単 位	
仮設工								
交通管理工								
交通誘導警備員								
	交通誘導警備員B	昼間勤務(交代要員あり)				262	人日	
共通仮設費(積上分)								
共通仮設費(積上分)								
仮設材運搬費								
	仮設材等の運搬	往路 4.1km	6.526			6.526	6.5	t
	仮設材等の運搬	復路 4.1km	6.526			6.526	6.5	t
	仮設材等の積み込み・取卸し	往復分	6.526			6.526	6.5	t
スクラップ控除								
	鉄屑	故銑 B	0.41			0.41	0.4	t

## 数量総括表

管きょ工(開削, 管径200mm)

種別	細別	形状・寸法	単位	数量	摘要
区間延長	VU管	φ 200	m	400.30	
管体延長	VU管	φ 200	m	389.83	
基礎延長	VU管	φ 200	m	388.64	
管路土工	機械掘削		m3	45.36	小規模
			m3	524.15	BH0.28m3
			m3	606.60	BH0.45m3
	埋 戻	RC-40	m3	23.23	小規模
		(土留有)	m3	403.35	BH0.28m3
		(土留有)	m3	504.72	BH0.45m3
	砂基礎	スクリーニングス	m3	14.24	小規模
			m3	78.37	BH0.28m3
			m3	68.40	BH0.45m3
	残土処分・運搬	場内仮置土	m3	45.36	小規模
		場内仮置土	m3	503.42	BH0.28m3
		処分	m3	20.73	BH0.28m3
		処分	m3	606.60	BH0.45m3
		493.9/0.9	m3	548.78	中継ポンプ場埋戻
管布設工	硬質塩化ビニル管	VU管 φ 200	m	389.83	
管材料	ゴム輪受口片受け直管	φ 200 L=4.00m	本	98	布設工に含む
	塩ビマンホール用自在継手	VU管 φ 200	本		
可とう性マンホール継手		VU管 φ 200	個	22	
舗装取壊し・復旧工					
	舗装切断	As,t=20cm以下	m	798.60	
		Con,t=20cm以下	m		
	舗装破碎	As,t=15cm以下	m2	432.57	
		Con,t=15cm以下	m2		
	ガラ処分	As塊	m3	21.64	
		Con塊	m3		
	路盤	M-30 t=10cm	m2		
		M-30 t=15cm	m2	432.57	
	舗装仮復旧	市道As(幅員4m以上)	m2		
		市道As(幅員4m未満)	m2	432.57	
管路土留工	軽量鋼矢板土留	L=2.00m	m	81.30	BH0.28m3
		L=2.50m	m		BH0.28m3
		L=3.00m	m	25.00	BH0.28m3
		L=3.50m	m	97.00	BH0.28m3
		L=4.00m	m	150.00	BH0.45m3
	金属支保工	1段	m	81.30	
		2段	m	272.00	
		3段	m		





内径 200 管渠工数量計算書(舗装復旧工・本管)

路線番号	管径・管種	人孔番号	路線延長	平均掘削深	掘削幅	仮復旧厚	本復旧厚	舗装切断		既設舗装取壊									仮復旧工					仮舗装撤去	路盤撤去	ガラ処分										
								As	Co	As舗装			As舗装			Co舗装			As舗装		路盤					As殻			Co殻							
										15cm以下	t=3cm		t=5cm		t=10cm		表層 t=3cm	表層 t=5cm	路盤 t=15cm	路盤 t=17cm	路盤 t=10+30cm	10cm以下	本管部			残り部	仮復旧	本管部	残り部							
								上流	L	H	B	t2'	t2	As	Co	本管部	残り部	合計	本管部	残り部	合計	本管部	残り部			合計	表層 t=3cm	表層 t=5cm	路盤 t=15cm	路盤 t=17cm	路盤 t=10+30cm	10cm以下	本管部	残り部	仮復旧	本管部
FH1	200	No.0				As	As	As																												
	VU	No.1	4.80	1.670	1.05	0.05	0.05	9.60					5.04		5.04					5.04		5.04				5.04		0.25			0.25					
FH1	200	No.1				As	As	As																												
	VU	No.2	5.50	1.750	1.05	0.05	0.05	11.00					5.78		5.78					5.78		5.78				5.78		0.29			0.29					
FH1	200	No.2				As	As	As																												
	VU	No.3	6.00	1.670	1.05	0.05	0.05	12.00					6.30		6.30					6.30		6.30				6.30		0.32			0.32					
FH1	200	No.3				As	As	As																												
	VU	No.4	46.00	1.210	0.85	0.05	0.05	92.00					39.10		39.10					39.10		39.10				39.10		1.96			1.96					
FH1	200	No.4				As	As	As																												
	VU	No.5	65.00	1.790	1.05	0.05	0.05	130.00					68.25		68.25					68.25		68.25				68.25		3.41			3.41					
FH1	200	No.5				As	As	As																												
	VU	No.6	25.00	2.580	1.05	0.05	0.05	50.00					26.25		26.25					26.25		26.25				26.25		1.31			1.31					
FH1	200	No.6				As	As	As																												
	VU	No.7	11.00	2.910	1.05	0.05	0.05	22.00					11.55		11.55					11.55		11.55				11.55		0.58			0.58					
FH1	200	No.7				As	As	As																												
	VU	No.8	24.00	3.200	1.05	0.05	0.05	48.00					25.20		25.20					25.20		25.20				25.20		1.26			1.26					
FH1	200	No.8				As	As	As																												
	VU	No.9	75.00	3.450	1.20	0.05	0.05	150.00					90.00		90.00					90.00		90.00				90.00		4.50			4.50					
FH1	200	No.9				As	As	As																												
	VU	No.10	75.00	3.390	1.20	0.05	0.05	150.00					90.00		90.00					90.00		90.00				90.00		4.50			4.50					
FH1	200	No.10				As	As	As																												
	VU	No.11	55.00	3.120	1.05	0.05	0.05	110.00					57.75		57.75					57.75		57.75				57.75		2.89			2.89					
FH1	200	No.11				As	As	As																												
	VU	既No.12	7.00	2.920	1.05	0.05	0.05	14.00					7.35		7.35					7.35		7.35				7.35		0.37			0.37					
合計			399.30					798.60					432.57		432.57				432.57		432.57				432.57		21.64			21.64						

# 数量総括表

## マンホール工

種別	細別	形状・寸法	単位	数量	設計数量	摘要
<b>1号組立マンホール</b>						
人孔蓋	加東市用	T-25用	組	11	11	11箇所
	加東市用	T-14用	組	—	—	0箇所
調整金具	25mmまで		個	7	7	
	45mmまで		個	4	4	
調整リング		H=0.05m	個	3	3	
		H=0.10m	個	4	4	
		H=0.15m	個	4	4	
		H=0.30m	個	3	3	
斜壁		H=0.45m	個	6	6	
		H=0.60m	個	2	2	
直壁		H=0.30m	個	—	—	
		H=0.60m	個	—	—	
		H=0.90m	個	—	—	
		H=1.20m	個	4	4	
管取付け壁		H=1.50m	個	1	1	
		H=0.60m	個	—	—	
		H=0.90m	個	1	1	
		H=1.20m	個	5	5	
		H=1.50m	個	4	4	
		H=1.80m	個	1	1	
底版		H=0.13m	個	11	11	
底部工			箇所	11	11	
	1箇所当り数量					
	コンクリート		m3	0.15	0.1	
	モルタル上塗り		n2	0.74	0.7	
	基礎碎石	t=20cm	m2	0.95	0.9	
削孔	1号	VUφ200	箇所	11	11	※流出側削孔費は部材費に含む
		VUφ150	箇所	2	2	※流出側削孔費は部材費に含む
		PEφ75	箇所	—	—	
マンホール据付工		MH≤2.0m	箇所	4	4	
		2.0m<MH≤3.0m	箇所	4	4	
		3.0m<MH≤5.0m	箇所	3	3	















種別

既設人孔改造工

## 数量計算書

細別・種目	計 算 式	数 量	単 位
既設人孔インバート改造工			
1号組立人孔	N= 1 =	1	箇所
既設No.12 1号人孔 コンクリート取壊し (無筋)	$V = 0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.280$		
ガラ運搬・処分 (Con塊:無筋)	$- 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 1.25$ 同上	0.160	m3
コンクリート (18-8-40)	$V = 0.90^2 \times \pi / 4 \times 0.280 - 0.75 \times 0.02$		
	$- 0.20^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 1.03$	0.150	m3
モルタル上塗り工	$A = \pi / 4 \times 0.90^2 + (\pi / 2 - 1) \times 0.20$ $\times 1.03$	0.75	m2
既設人孔削孔工			
既設人孔削孔工 φ200	=	1.0	箇所
可とう継手(貼付) φ200	=	1.0	箇所
<div data-bbox="539 1317 1305 1989" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;">改修平面図</p> <p style="text-align: center;">内径φ900</p> <p style="text-align: center;">既設 Wφ200</p> <p style="text-align: center;">可とう継手 削孔φ200</p> <p style="text-align: center;">φ200</p> <p style="text-align: center;">既設 Wφ200</p> <p style="text-align: center;">インバート工 モルタル上塗り (t=2cm 配合1:2)</p> <p style="text-align: center;">管口閉塞</p> <p style="text-align: center;">既設管充填</p> <p style="text-align: center;">0.79</p> <p style="text-align: center;">0.79+0.24=1.03m</p> </div>			

種別  
人孔築造工(底部工)

## 数量計算書

工種・細目	算式	数量	単位
1号組立マンホール			
底部工	N =		箇所
1箇所当り数量			
コンクリート	$V = \frac{0.90^2}{2} \times \pi / 4 \times 0.280 - 0.74 \times 0.02$ $- \frac{0.20^2}{2} \times \pi / 4 \times \frac{1}{2} \times 0.90$	0.15	m3
モルタル上塗り工	$A = \pi / 4 \times 0.90^2 + (\pi / 2 - 1) \times 0.20$ $\times 0.90 =$	0.74	m2
基礎碎石 (t=20cm)	$A = 1.10^2 \times \pi / 4$ $V = 0.95 \times 0.20$	0.95	m2
		0.19	m3
調整工			
無収縮モルタル	平均調整高20mm以下の場合 0.5袋/25kg 平均調整高20mmを超え40mm以下の場合 1.0袋/25kg 平均調整高40mmを超え60mm以下の場合 1.5袋/25kg 平均調整高60mmを超え90mm以下の場合 2.0袋/25kg		

【使用量の目安】 グラウンドマンホール (RX-65/63/33) の調整部として計算

平均調整高さ (mm)	20	~30	~40	~50	~60	~70	~80	~90	~100
RX-33	1.2.5kg			2.5kg					
RX-65/63	1.2.5kg	2.5kg	2.5kg + 1.2.5kg		2.5kg × 2		2.5kg × 2 + 1.2.5kg		

※経験値より10%の材料のロスを見込んでいます。  
 ※最小調整高さは20mmとなります。

7

## 数量総括表

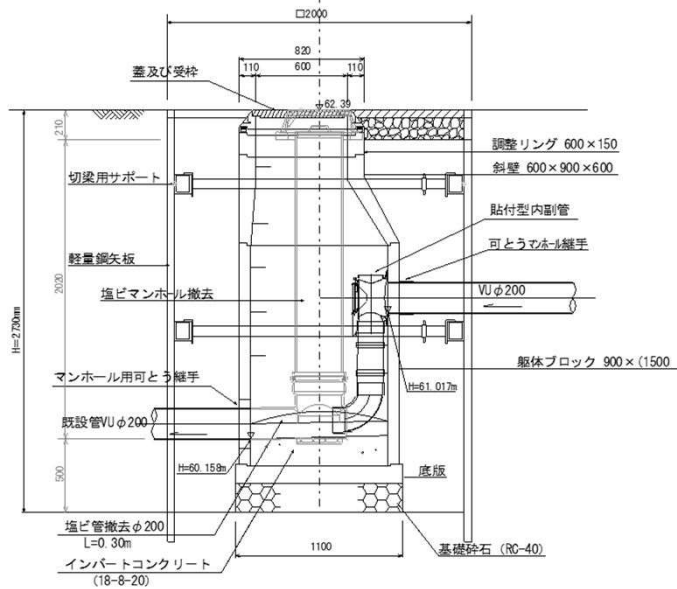
No.0土工

種別	細別	形状・寸法	単位	数量	摘要
管路土工	機械掘削		m3	10.57	BH0.28m3
	埋戻	RC-40	m3	8.12	BH0.28m3
	残土処分・運搬	処分	m3	10.57	BH0.28m3
舗装取壊し・復旧工					
	舗装切断	As,t=20cm以下	m	8.00	
	舗装破碎	As,t=15cm以下	m2	4.00	
	ガラ処分	As塊	m3	0.20	
	路盤	M-30 t=15cm	m2	4.00	
	舗装仮復旧	市道As(幅員4m未満)	m2	4.00	
管路土留工	軽量鋼矢板土留	L=3.00m	m	2.00	BH0.28m3
	金属支保工	2段	m	2.00	



# No.0 土工

## 概略図



### 1号マンホール土工控除

名称	外径	厚み	体積
底版	1100	130	0.12
躯体	1100	1500	1.30
斜壁	1050-820	600	0.42
蓋・調整	820	300	0.16
		合計	2.00

### 塩ビマンホール土工控除

名称	外径	厚み・延長	体積
鉄ふた	420	210	0.03
塩ビ管	318	2020	0.08
本管	216	300	0.04
		合計	0.15

名称	計算式	単位	数量
<b>土工</b>			
舗装版切断 t=5cm	2.00 × 4.00	m	8.00
舗装版破碎 t=5cm	2.00 × 2.00	m <sup>2</sup>	4.00
立坑掘削 H=2.730m	2.00 × 2.00 × ( 2.73 - 0.05 ) - 0.15	塩ビ人孔控除 m <sup>3</sup>	10.57
塩ビ人孔撤去 MH=2.230m	塩ビマンホール撤去数量計算書による		
人孔設置	1号マンホール数量計算書による		
埋戻し 再生砕石	2.00 × 2.00 × ( 2.73 - 0.15 - 0.05 ) - 2.00	1号人孔控除 m <sup>3</sup>	8.12
路盤工 t=15cm	2.00 × 2.00	m <sup>2</sup>	4.00
仮復旧工 t=5cm	2.00 × 2.00	m <sup>2</sup>	4.00
ガラ処分	4.00 × 0.05	m <sup>3</sup>	0.20
残土処分		m <sup>3</sup>	10.57
鋼矢板建込 3.0m	2.00	m	2.00
土留支保工 2段	2.00	m	2.00



単位数量計算書(撤去)

名称	楕円組立マンホール撤去	縮尺
----	-------------	----

オーバルマンホール寸法表

種類	形式	内径 (mm)	外径 (mm)	高さ h (mm)	参考重量 (kg)
床版	OMF-2-20	600	820/1120	200	162
斜壁	OMT-45	600	750/1050	450	205
	OMT-60	600/900	750/1050	600	272
直壁	OMS-30			300	143
	OMS-60	600/900	750/1050	600	290
	OMS-90			900	429
底付 (管取付壁)	OMB-67			670	389
	OMB-87			870	485
	OMB-97	600/900	750/1050	970	536
	OMB-127			1270	682

\* 調整ブロックは1号マンホールと共通です。

調整リング寸法表

種類	形式	内径 (mm)	外径 (mm)	高さ h (mm)	参考重量 (kg)
調整	VMR-5			50	35
	VMR-8			80	55
	VMR-10	600	840	100	68
	VMR-15			150	100

土工控除

種別	下部面 (楕円面積)	上部面 (円面積)		高さ	体積
斜壁 φ750-1050	(0.866+)	0.442)/	2*	0.450=	0.294m3
"	(0.866+)	0.442)/	2*	0.600=	0.392m3
調整リング φ840	0.554*			0.080=	0.044m3
"	0.554*			0.150=	0.083m3
調整モルタル (100mm当り)	0.554*			0.100=	0.055m3
鉄ふた φ660	0.342*			0.060=	0.021m3

※ 蓋厚0.11cm-舗装厚0.05cm

鉄ふた重量

DSF-60GNA14

規格：日本下水道協会規格  
JIS B 9435 G-4 準拠  
区分：蓋体蓋口  
構造：鉄筋コンクリート・縦溝式  
特徴：浮上防止型  
重量：蓋30kg、枠64kg  
破砕重量：400kg以内(φ400)79kg以内(φ500)  
適用荷重：T-14 適用



- 当水たは前記の文字の他に、口指定により文字・マーク等刻出し致します。
- 蓋の前後には、専用突起ハンドル(別売)が必要ですが。
- 浮上防止部はオプションです。

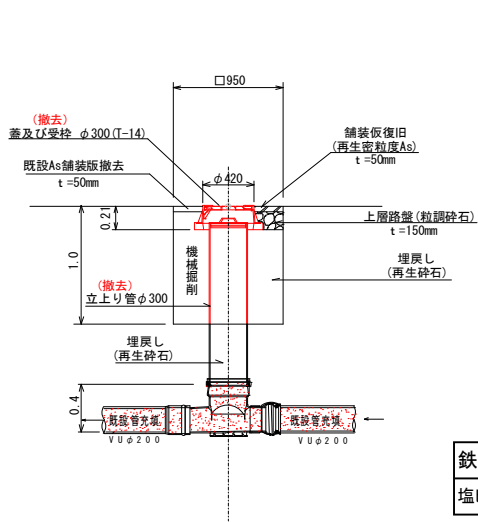
種別	細別	規格	計 算 式					数量	単位	土量控除		
コンクリート 撤去		測点	2045	2046	2047	2048	2050	合計				
		土被り	1.26	2.10	2.19	2.13	2.53					
管取付壁(底付)	φ600/900	H=670mm 389kg			1.0			1.0	389kg × 1基	kg		
	φ600/900	H=870mm 485kg	1.0			1.0	2.0	485kg × 2基	kg			
	φ600/900	H=970mm 536kg		1.0			1.0	536kg × 1基	kg			
	φ600/900	H=1270mm 682kg			1.0		1.0	682kg × 1基	kg			
	直壁	φ600/900	H=300mm 143kg					0.0		kg		
		φ600/900	H=600mm 290kg		1.0			1.0	290kg × 1基	kg		
		φ600/900	H=900mm 429kg			1.0	1.0	1.0	429kg × 3基	kg		
床版	φ600	H=200mm 162kg					0.0		kg			
斜壁	φ600-900	H=450mm 205kg	1.0			1.0	1.0	205kg × 3基	615	kg	0.88	
	φ600-900	H=600mm 272kg		1.0	1.0		2.0	272kg × 2基	544	kg	0.78	
調整リング	φ600	H=50mm 35kg					0.0			kg		
	φ600	H=80mm 55kg			1.0		1.0	55kg × 1基	55	kg	0.04	
	φ600	H=100mm 68kg					0.0			kg		
	φ600	H=150mm 100kg	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	100kg × 5基	500	kg	0.42	
							合計	1714kg ÷ 2.35 ÷ 1000	1,714	kg	0.73	
調整モルタル			70	60	70	60	40	300	$((0.84 \times 0.84 \times \pi \div 4) - (0.60 \times 0.60 \times \pi \div 4)) \times 0.3$	0.08	m3	0.02
コンクリート 撤去	無筋							合計	0.81	m3		
鉄ふた撤去	φ600	T-14 受枠共 64kg/基	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	5.0		5.0	基	0.11
									(0.320)	t		
			0.78	0.77	0.78	0.77	0.75		掘削深(斜壁下まで撤去)		m3	2.25
								合計				

撤去対象外



単位数量計算書(撤去)

名称	塩ビマンホール撤去	縮尺
----	-----------	----

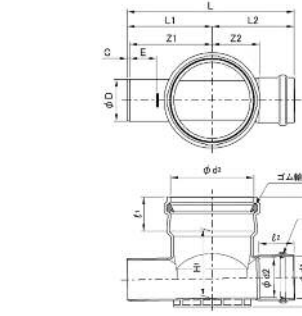


VU φ 300	13.7kg/m
VU φ 200	6.6kg/m

呼び径	外径 (mm)	厚さ (mm)	内径 (mm)	重量 g/本	梱包本
40	48	1.8	44	1,652	20
50	60	1.8	56	2,084	15
65	76	2.2	71	3,330	10
75	89	2.7	83	4,636	7
100	114	3.1	107	6,948	5
125	140	4.1	131	10,956	3
150	165	5.1	154	15,764	1
200	216	6.5	202	26,288	1
250	267	7.8	250	39,032	1
300	318	9.2	298	54,804	1
350	370	10.5	348	72,204	1
400	420	11.8	395	92,236	1
450	470	13.2	442	115,500	1
500	520	14.6	489	141,384	1

掘削控除

鉄ふたφ420	0.03	m3
塩ビφ318 1m当り	0.08	m3



対象品	呼び径	C	D	E	H	H1	φ1 (最小寸法)
	150-300	10	165.0±0.5	110	430	262	165.7
	200-300	13	218.0±0.7	130	465	312	218.9

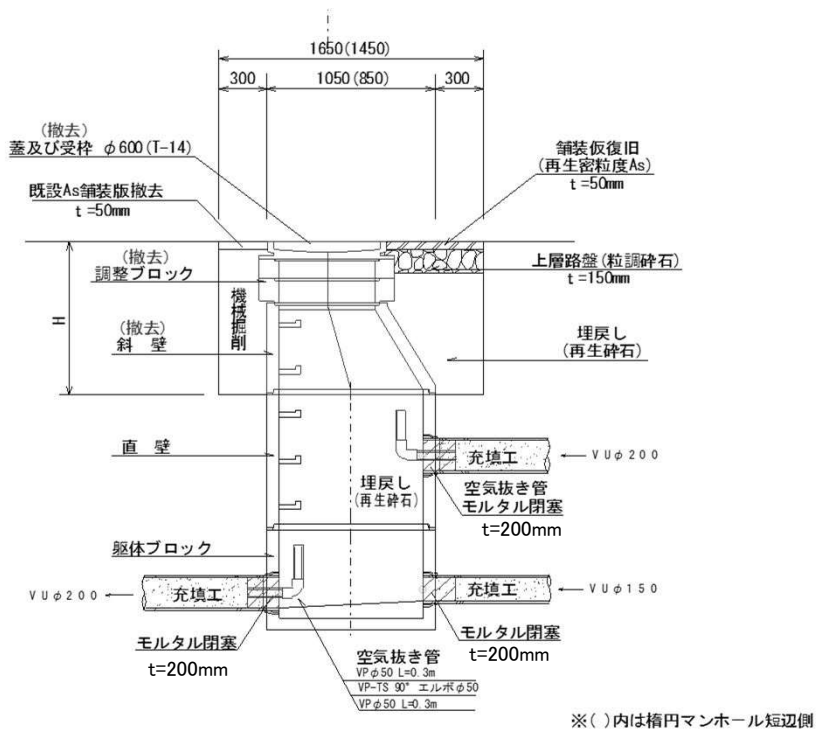
呼び径	d2	d3±1.5	f1	f2	Z1	Z2	L	L1	L2	参考質量 (kg)
150-300	154	322.7	135	138	320	184	650	330	320	7.3
200-300	202	322.7	135	153	341	193	700	354	346	9.4

備考 1. 日本下水道協会 JISWAS K-9規格品  
 2. ゴム輪の材質は品質のステレンポリシリコン(SBR)であり、品質は JIS K 6353 (水廻り用) の 1 部 A に準じます。  
 3. 本図面はφ150-300です。  
 4. 許容差を明記していない寸法は、参考寸法です。

種別	細別	規格	計算式			合計	備考	数量	単位
塩ビマンホール撤去		測点	既No.0 全撤去	2044	2049				
		人孔深	2.23	1.44	1.91				
	立て管撤去	φ 300 13.7kg/m	1.73	0.80	0.85	3.38		3.38	m
	立て管切断	φ 300		1.0	1.0	2.0		2.0	箇所
	本体撤去 200-300	KT 9.4kg/基	1.0			1.0		1.0	基
	本管撤去	φ 200 6.6kg/m	0.30			0.30		0.30	m
	本管切断	φ 200	1.0			1.0		1.0	箇所
	廃プラ撤去	運搬・処分	(9.4kg/基 × 1基 + 13.7kg/m × 3.38m + 6.6kg/m × 0.3m) / 1000					(0.058)	t
	鉄ふた撤去	T-14 受枠共 31.2kg/基	1.0	1.0	1.0	3.0		3.0	基
								(0.094)	t
土工			No.0土工 による						
	舗装版切断	15cm以下 □0.95m t=5cm		3.80	3.80	7.60		7.60	
	舗装版破碎	15cm以下 □0.95m t=5cm		0.90	0.90	1.80		1.80	
	残塊運搬工	Asガラ 1.8m2*0.05				0.09		0.09	
	舗装版処分工	Asガラ				0.09		0.09	
	床掘り	土砂 0.95*0.95*(H-0.05)		0.86	0.86	1.72	人孔控除-0.19	1.53	m3
	残土運搬工	土砂						1.53	m3
	埋戻し	RC-40 人孔内φ300		0.72	0.72	1.44	0.07m2 × (人孔深-0.4-1.0)	1.44	m3
				0.00	0.04	0.04		0.04	m3
							合計	1.48	m2
	路盤工	M-30 0.95*0.95 t=15cm		0.90	0.90	1.80		1.80	m2
	舗装復旧工	As13mm 0.95*0.95 t=5cm		0.90	0.90	1.80		1.80	m2

# 既設管充填

概略図



名称	計算式	単位	数量
注入工 VUφ200	21.2 + 15.7 + 47.7 + 39.2		
	47.7 + 47.7	m	219.2
エアームルク	219.2 * 0.2 * 0.2 * π/4	m <sup>3</sup>	6.89
モルタル閉塞		箇所	12
モルタル VUφ200	0.2 + 0.2 + π/4 * 0.2	m <sup>3</sup>	0.006
空気抜き管		箇所	12
VPφ50	0.30 + 0.30	m	0.6
VP-TS 90° エルボ		個	1
モルタル閉塞		箇所	1
モルタル VUφ150	0.15 + 0.15 + π/4 * 0.2	m <sup>3</sup>	0.004



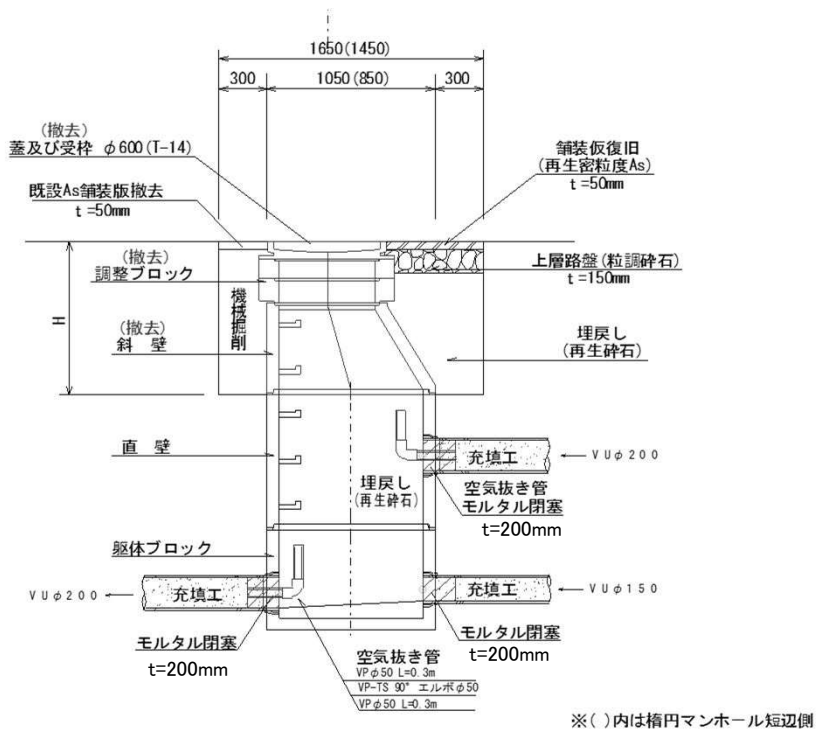






# 既設管充填

概略図



名称	計算式	単位	数量
注入工 VUφ200	21.2 + 15.7 + 47.7 + 39.2		
	47.7 + 47.7	m	219.2
エアームルク	219.2 * 0.2 * 0.2 * π/4	m <sup>3</sup>	6.89
モルタル閉塞 モルタル VUφ200	0.2 * 0.2 * π/4 * 0.2	m <sup>3</sup>	0.006
空気抜き管		箇所	12
VPφ50	0.30 + 0.30	m	0.6
VP-TS 90° エルボ		個	1
モルタル閉塞 モルタル VUφ150	0.15 * 0.15 * π/4 * 0.2	m <sup>3</sup>	0.004

# 特記仕様書

第1条 この仕様書は、下記の工事の施工に適用する。

工事名 : 令和5年度 社会資本整備総合交付金事業  
上福田北部地区処理場統合整備工事(1)  
工事場所 : 加東市吉馬地内 ほか  
工期 : 契約締結日の翌日から令和6年2月29日まで

第2条 本事業は処理場施設の統合による事業の効率化を図るため、供用中の処理場を廃止し、公共下水道へ接続することを目的とする。

第3条 本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書(以下「共通仕様書」という。)、土木請負工事必携、土木工事施工管理基準、「小型構造物標準図集」(兵庫県県土整備部)によるものとする。

第4条 共通仕様書に対する特記事項は、次のとおりとする。

1. 設計図書の照査等

- 1) 本特記仕様書に記載する事項の内、共通仕様書に記載される事項と重複するものについては、本特記仕様書が優先するものとする。
- 2) 本工事の施工に当たっては、事前に設計図書の照査を行うものとし、監督員に確認できる資料を書面により提出するものとする。

2. 工事用地等の使用

- 1) 工事用地区域外への立ち入り  
請負者は、工事用地以外の区域へ立ち入りする場合は必ず所有者の承諾を得なければならない。

3. 関係機関との調整

- 1) 地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等についての説明し理解を求め、施工にあたってはトラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。

4. 施工体制台帳について

- 1) 請負者は、建設業法第24条の8に基づいて施工体制台帳及び施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条に基づいて監督員に提出するものとする。このとき施工体制台帳は土木請負工事必携5-58、施工体系図は5-62を参考として作成するものとする。

5. 現場の管理について

- 1) 請負者は、現場代理人・監理技術者・主任技術者及び専門技術者並びに下請負業者の主任技術者に、工事現場内において工事名・工期・顔写真・所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

(名札の例)

<b>監理（主任）技術者</b>			
写 真  2 cm× 3 cm 程 度	氏 名	〇〇 〇〇	
	工事名	市道	線
	工 期	自 年 月 日	至 年 月 日
	会社名	◇◇建設株式会社	
			印

注) 1. 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。  
2. 社印は所属会社の社印とする。

#### 6. 建設副産物について

##### 1) 再生資源の活用

特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

##### 2) 再生資源の利用の促進

請負者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

###### ① 提出様式

本工事については、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

###### ② 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書CDを監督員に提出するものとする。

##### 3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

廃棄物の種類	施設の名称	所在地	摘 要
アスファルト塊	大林道路(株) 東条アスファルト混合所	加東市天神字北山1228-39	特定建設資材 廃棄物
コンクリート塊	(株)西畑土建	小野市船木町字南山875-132	特定建設資材 廃棄物

※ 上記は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

- 4) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告することとする。

なお、書面は再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

- 5) 建設発生土の搬出（流用）

建設発生土については、加東市が行う上福田北部地区処理場統合整備工事（2）に流用するため、V=540m<sup>3</sup>を吉馬・牧野清流センターに搬出するものとする。

- 6) 建設発生土の搬出

残りの建設発生土については、「(株)クレール（加西市馬渡谷町421番1）」に搬出するものとする。前述は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りでない。

#### 7. 排出ガス対策型建設機械について

- 1) 本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の技術審査・証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、請負者の都合で調達できない場合を含むものとする。なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックホウ</li> <li>・トラクションバル（車輪式）</li> <li>・ブルドーザ</li> <li>・発動発電機（可搬式）</li> <li>・空気圧縮機（可搬式）</li> <li>・油圧エット</li> </ul> <p>（以下に示す基礎工事中用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧エットを搭載しているもの：</p> <p style="padding-left: 40px;">油圧ハンマ、ハイブローハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、ホールディング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型ホールディング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ</li> <li>・ホイールクレーン</li> </ul>	<p>ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5kW以上、260kW以下） を搭載した建設機械に限る。</p> <p>ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p>

## 8. 交通安全管理について

- 1) 交通誘導員については、交通誘導員B 262名 計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A： 警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員。

交通誘導員B： 警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの。

- 2) 請負者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

請負者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料のいずれかを監督員に提出するものとする。

- ・ 警備員指導教育責任者資格者証（写し）
- ・ 指定講習修了証明書（写し）
- ・ 警備業法施行規則第38条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類。

## 9. 工事カルテの作成・登録について

- 1) 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日・日曜日・祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事は、受注・訂正時のみ登録するものとする）

また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- 2) 工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事（2,500万円以上の工事はすでに含まれている）については、CORINSの登録等にかかる費用は共通仮設費率に含まれている。

## 10. 安全・訓練等について

- 1) 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後、原則として作業員全員の参加によって、1箇月あたり半日以上時間を割当、現場に即した安全訓練等を実施すること。

- 2) 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出すること。

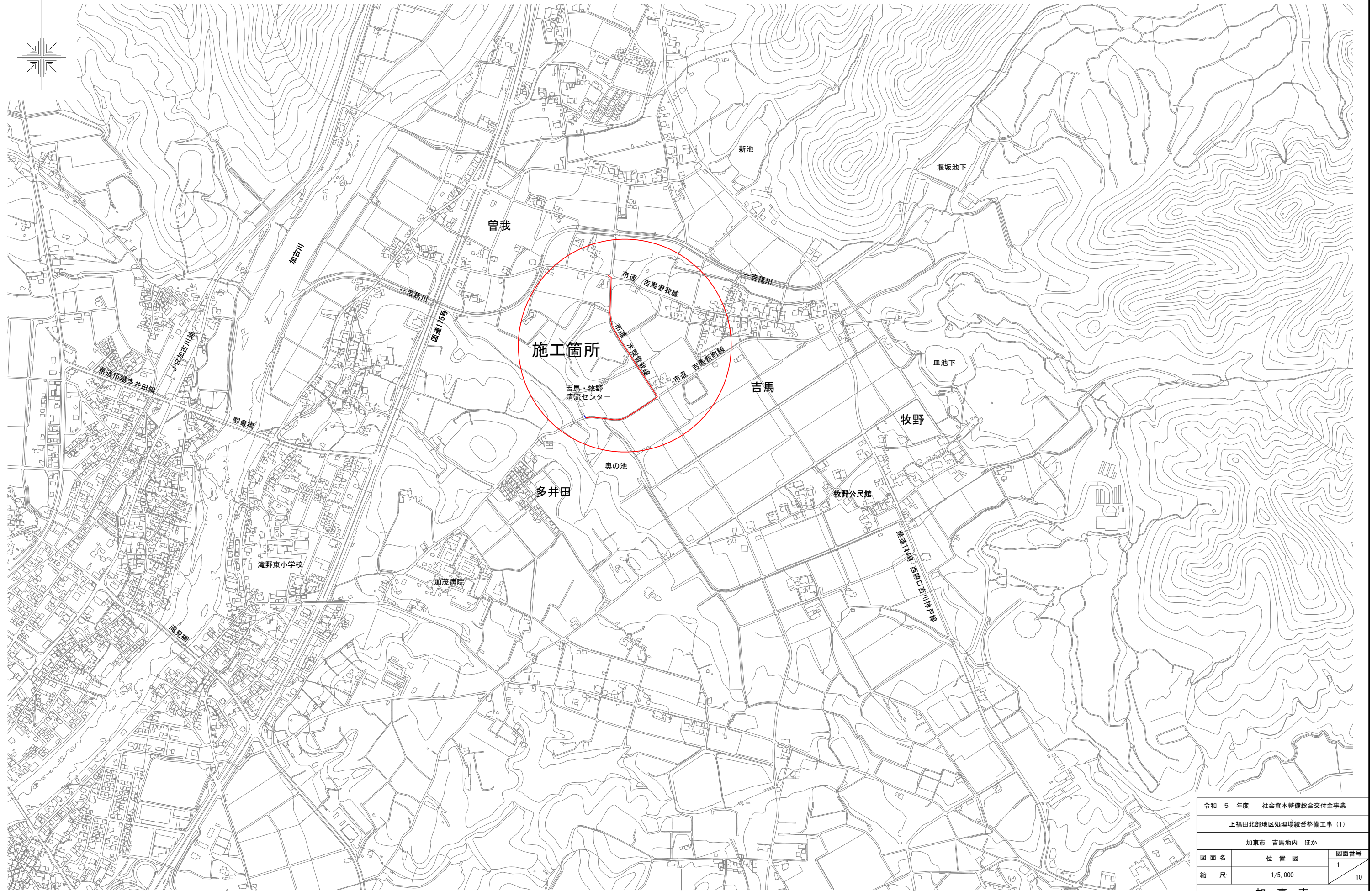
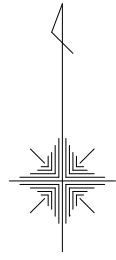
- 3) 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況をビデオ又は工事報告（工事月報）に記録し報告すること。

11. 工期について
  - 1) 工期は土・日曜日、祝日、年末・年始休暇を含んでいる。
  
12. レディーミクストコンクリート  
共通仕様書 第1編共通編 第3章無筋・鉄筋コンクリート 第3節レディーミクストコンクリートの規定によるものとする。
  
13. 下層路盤材について
  - 1) アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込砕石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比60%以下とする。  
ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。  
なお、生産者の都合により再生砕石の供給に支障がある場合は、監督員と協議の上新石に変更することとし、設計変更の対象とする。
  
14. 不正軽油の使用の禁止
  - 1) 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
  - 2) 請負者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。
  
15. その他
  - 1) 本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。
  - 2) 完成図書はイージーキャビネット（幅365高さ290奥行450）に入れて提出すること。
  - 3) 工外用標示板について  
工事看板は下図を標準とする。



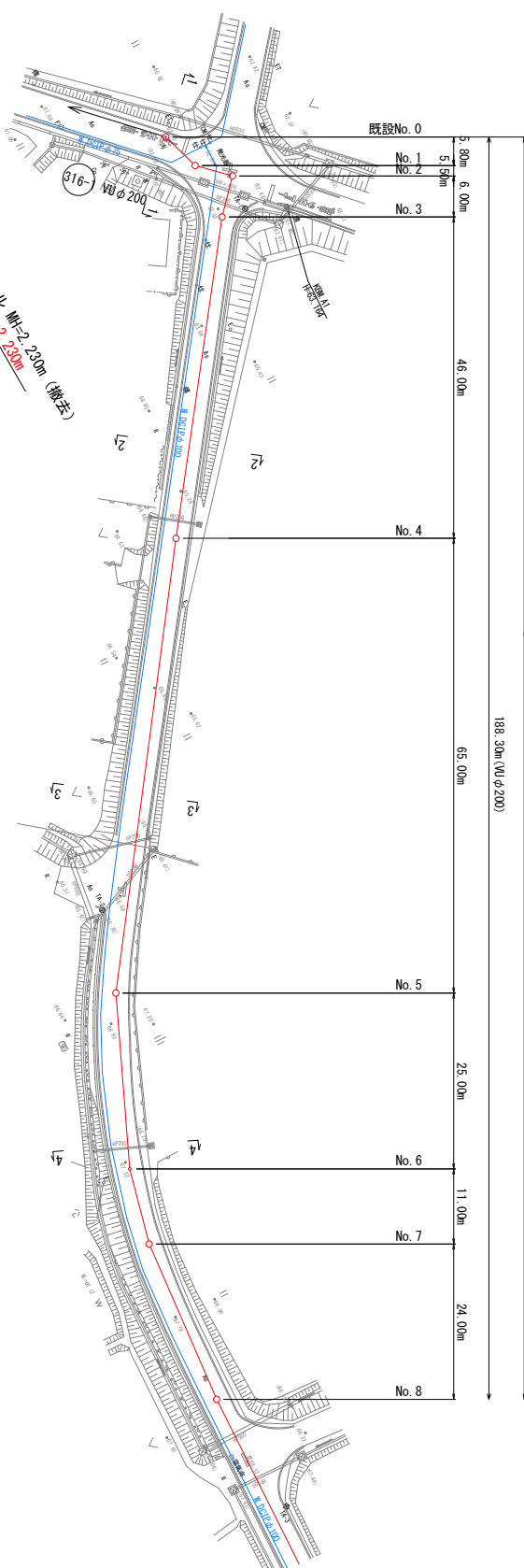
# 位置図 S=1/5,000



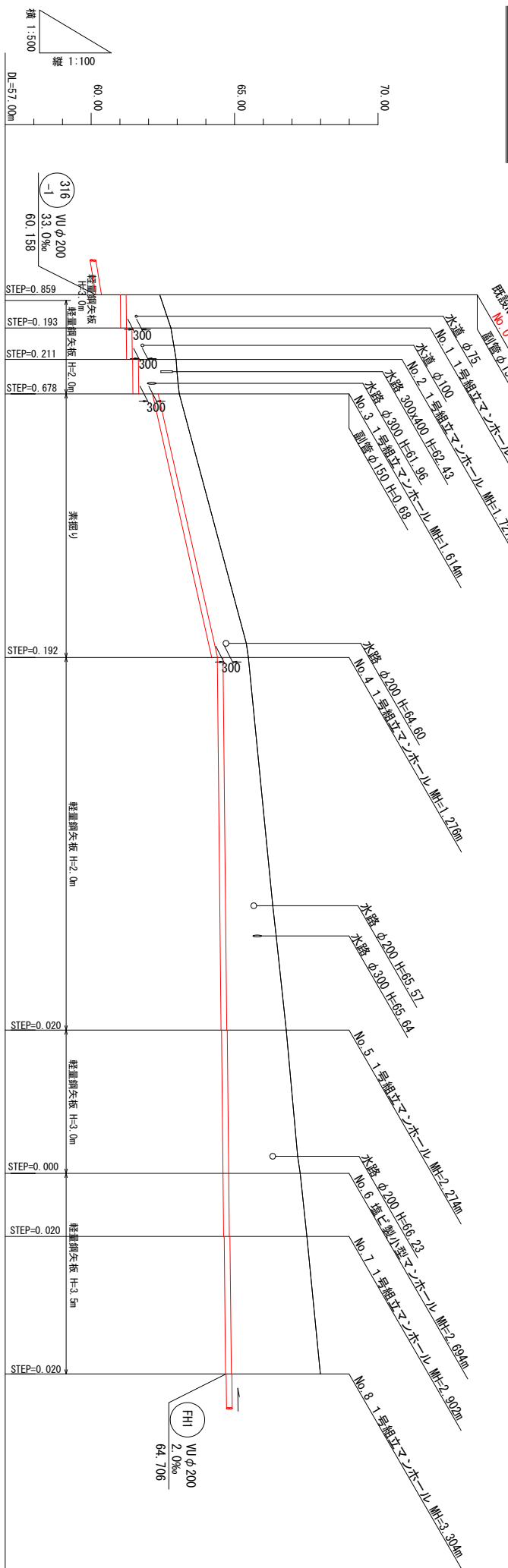
令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業		
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)		
加東市 吉馬地内 ほか		
図面名	位置図	図面番号
縮尺	1/5,000	1
加東市		10



平面図  
S=1/500

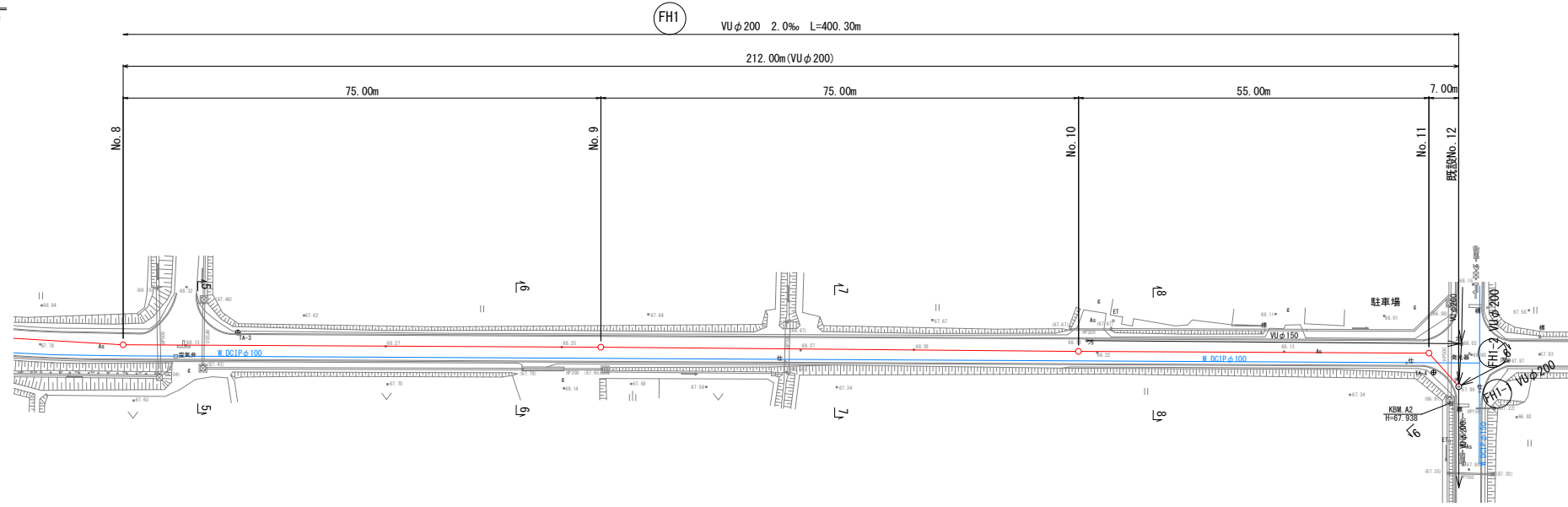


縦断面図

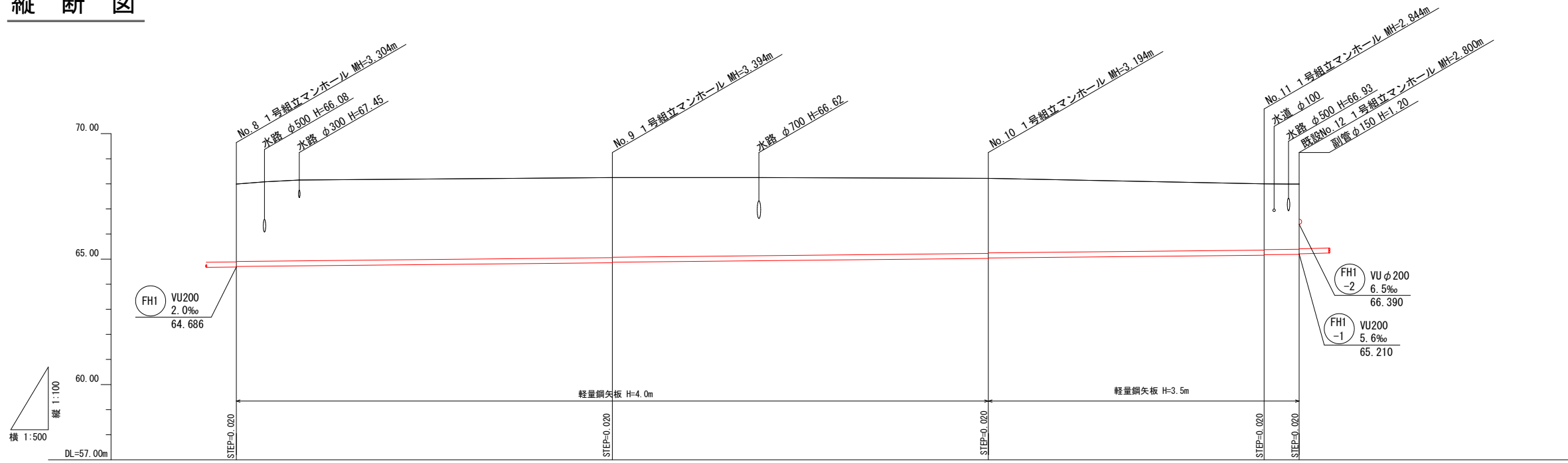


管番号	管径	勾配	管渠延長	土盛り	管底高	掘削深	地盤高	通知距離	単距離	別点
			2.0							
			45.0							
			400.30							
			2.0							
No. 0					60.158 61.017	1.48 1.86	62.39 62.78	0.00 5.80		既設 No. 0
No. 1					61.029 61.222	1.66 1.62	62.78 62.96	5.80 5.50		No. 1 No. 2
No. 2					61.233 61.444	1.83 1.62	62.96 63.07	11.30 17.30		No. 2 No. 3
No. 3					61.456 62.134	1.72 0.73	63.07 63.07	17.30 6.00		No. 3
No. 4					64.204 64.396	1.38 1.19	65.48 65.48	46.00 63.30		No. 4
No. 5					64.526 64.546	2.38 2.36	66.80 66.80	65.00 128.30		No. 5
No. 6					64.596	2.80	67.29	25.00 153.30		No. 6
No. 7					64.618 64.638	3.01 2.99	67.52 67.52	11.00 164.30		No. 7
No. 8					64.686	3.41	67.99	24.00 188.30		No. 8

平面図  
S=1/500



縦断図



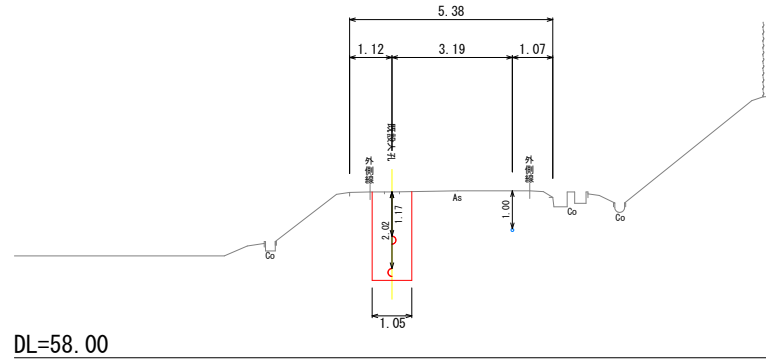
管番号	(FH1)				
管径	VUφ200				
勾配	2.0				
管渠延長	400.30				
土被り	3.08	3.19 3.17	2.99 2.97	2.64 2.62	2.59 2.57
管底高	64.706	64.856 64.876	65.026 65.046	65.156 65.176	65.190 65.210
掘削深	3.39	3.50 3.48	3.30 3.28	2.95 2.93	2.91
地盤高	67.99	68.25	68.22	68.00	67.99
追加距離	0.00	75.00	150.00	205.00	212.00
単距離	0.00	75.00	75.00	55.00	7.00
測点	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11 既設 No. 12	No. 12

令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業		
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)		
加東市 吉馬地内 ほか		
図面名	平面図・縦断図 (2)	図面番号
縮尺	平面図 S=1/500 縦断図 V=1/100 H=1/500	3 10
加東市		

# 横断面図 S=1/100

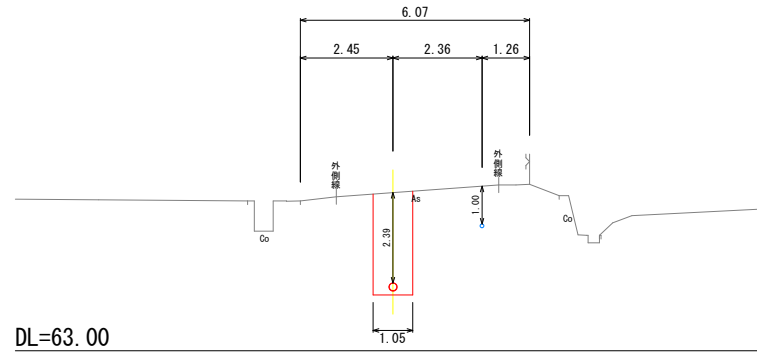
1 (No. 0)

GH=62.39  
FH=60.158  
FH=61.017



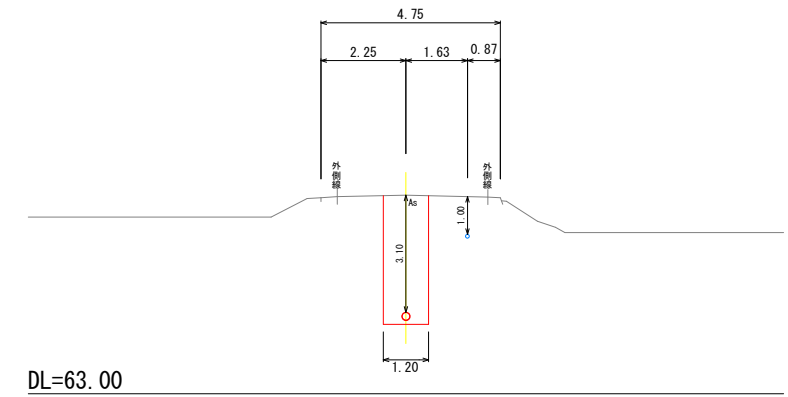
4 (No. 5+21.7)

GH=67.19  
FH=64.589



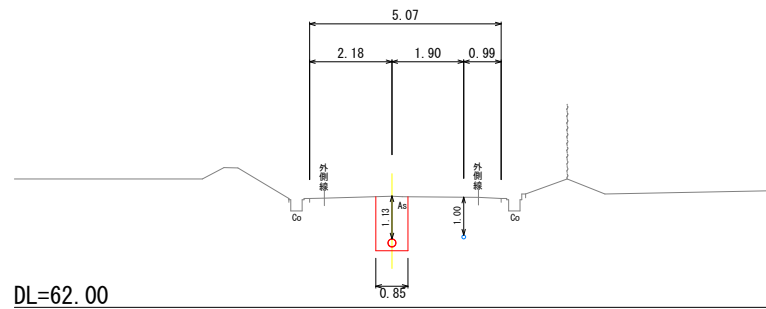
7 (No. 9+36.7)

GH=68.26  
FH=64.949



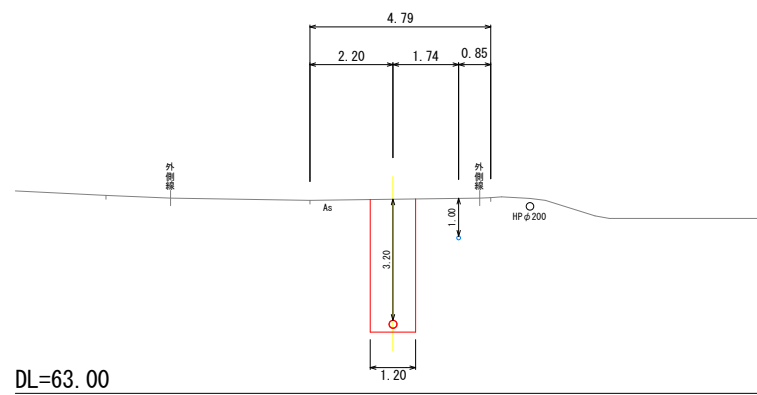
2 (No. 3+32.7)

GH=64.94  
FH=63.606



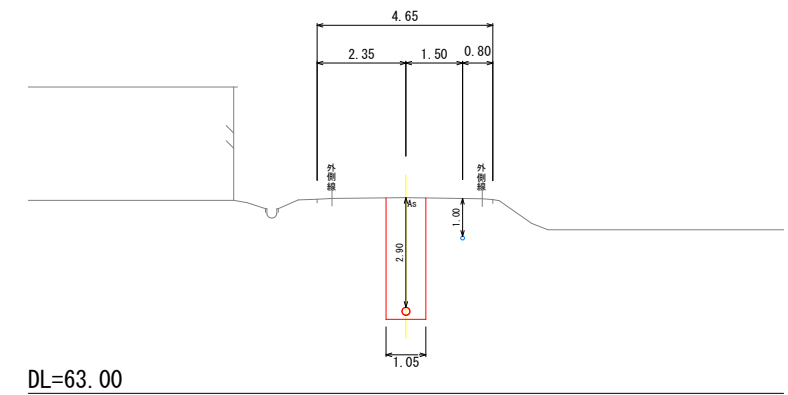
5 (No. 8+11.7)

GH=68.14  
FH=64.729



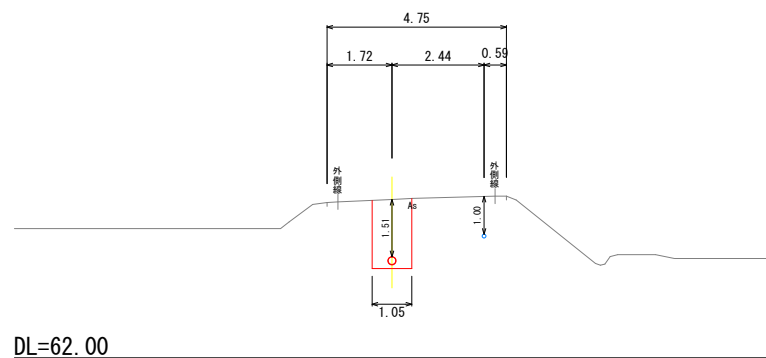
8 (No. 10+11.7)

GH=68.18  
FH=65.069



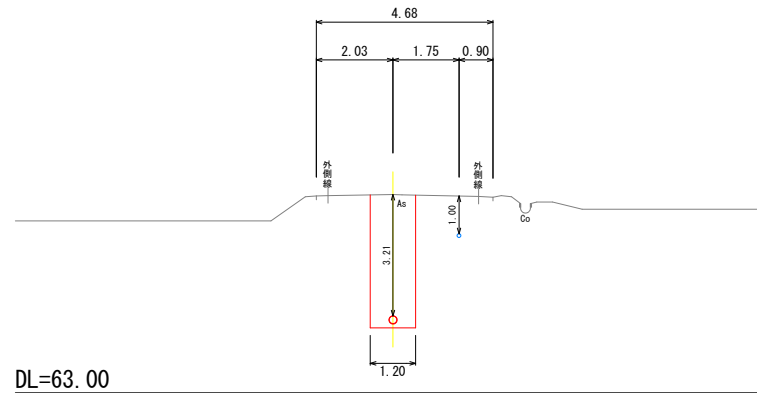
3 (No. 4+36.7)

GH=66.19  
FH=64.469



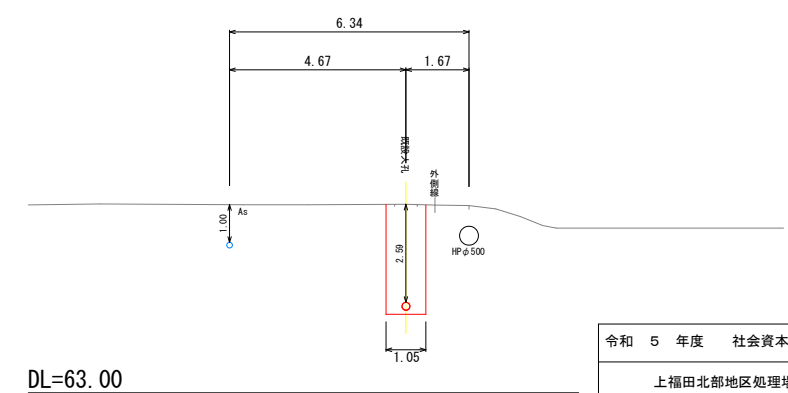
6 (No. 8+61.7)

GH=68.25  
FH=64.829



9 (No. 11+6.7)

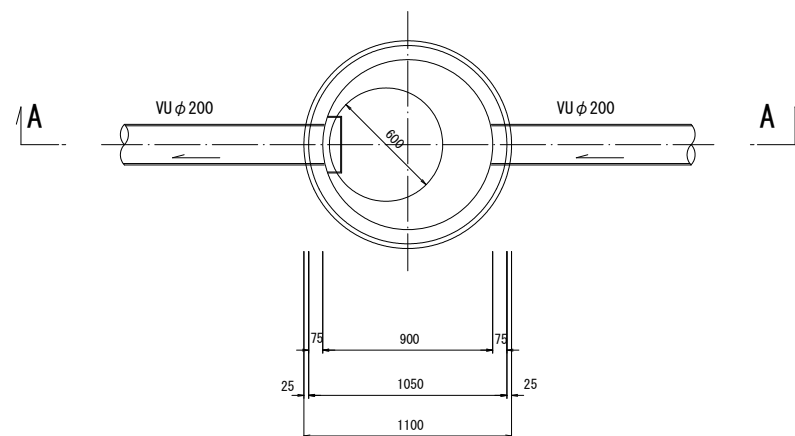
GH=67.99  
FH=65.189



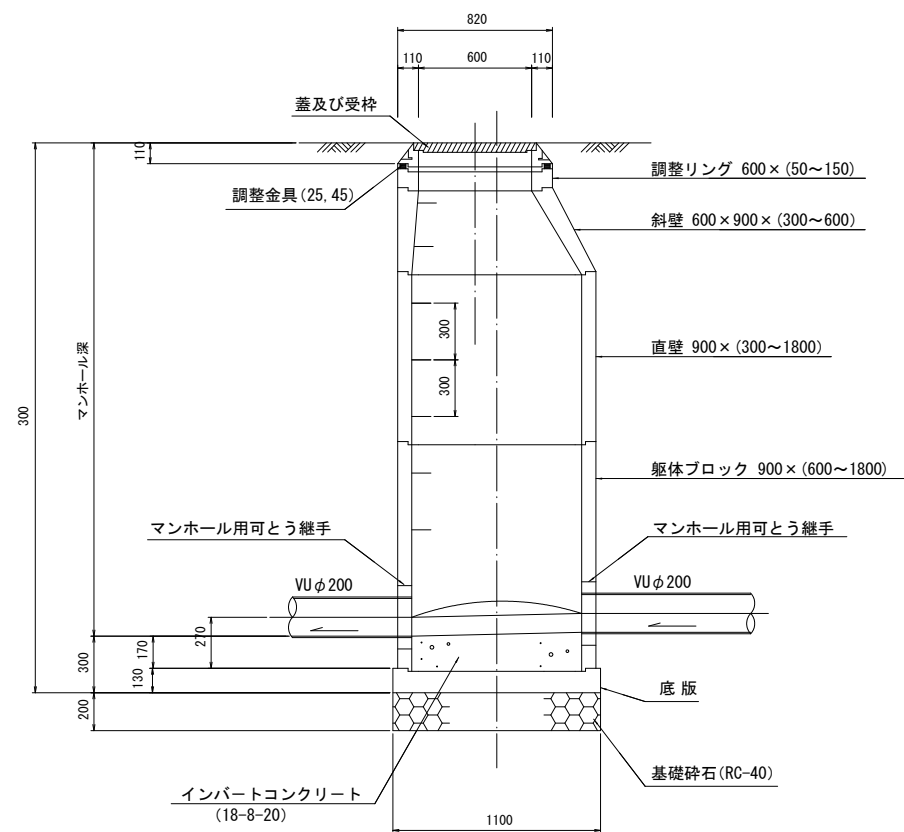
令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業		
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)		
加東市 吉馬地内 ほか		
図面名	横断面図	図面番号
縮尺	S=1/100	4
加東市		

(参考図)

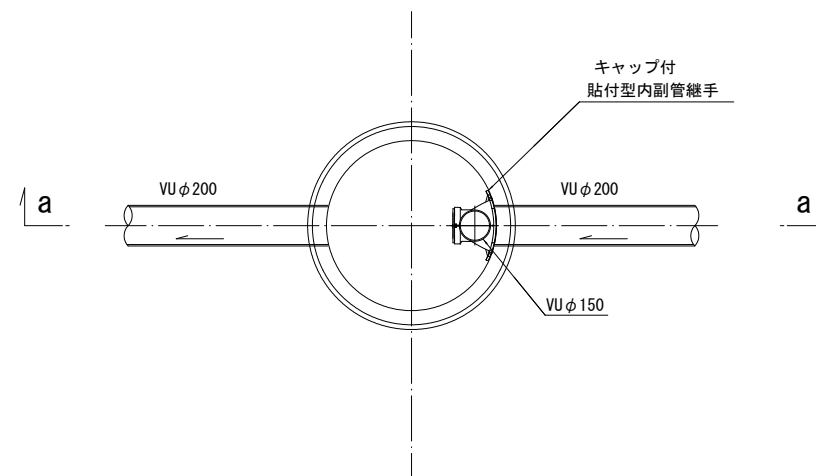
平面図



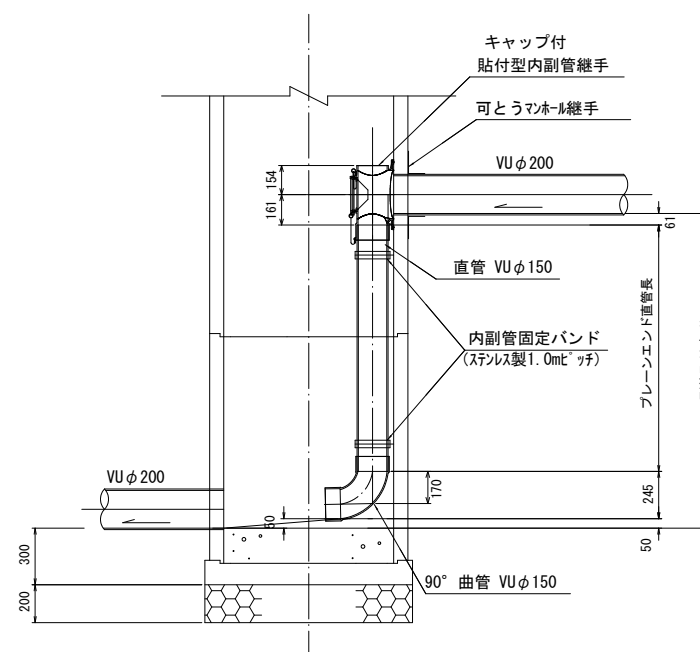
A-A断面図



平面図



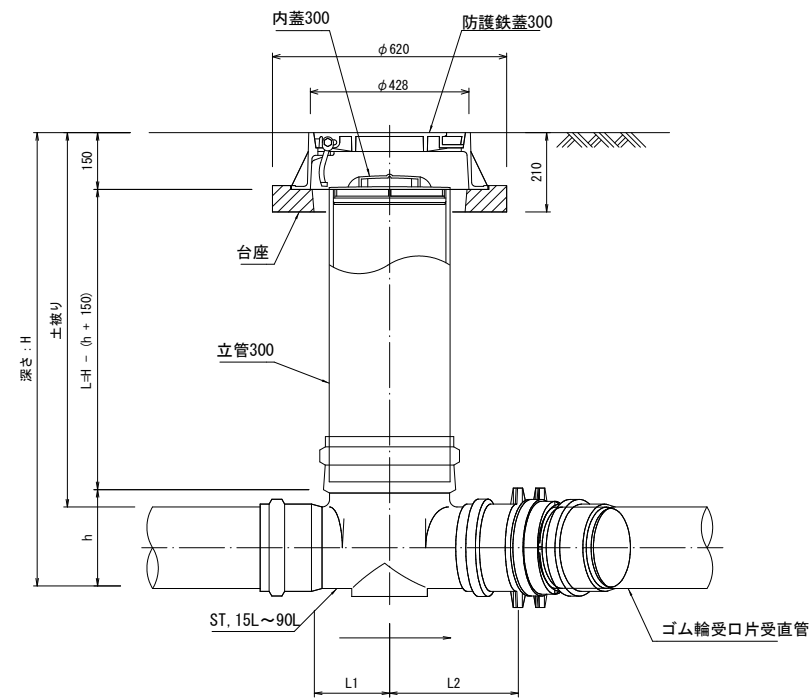
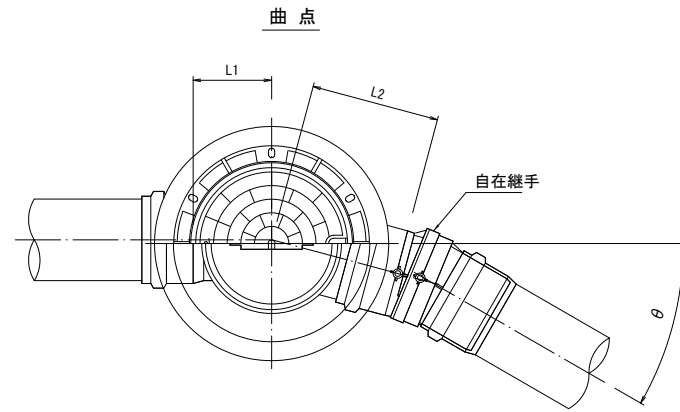
a-a断面図  
内副管



令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業		
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)		
加東市 吉馬地内 ほか		
図面名	1号組立マンホール標準構造図	図面番号
縮尺	S=1/20	5 / 10
加東市		

# 塩ビ製小型マンホール構造図 S=1/10

## (参考図)

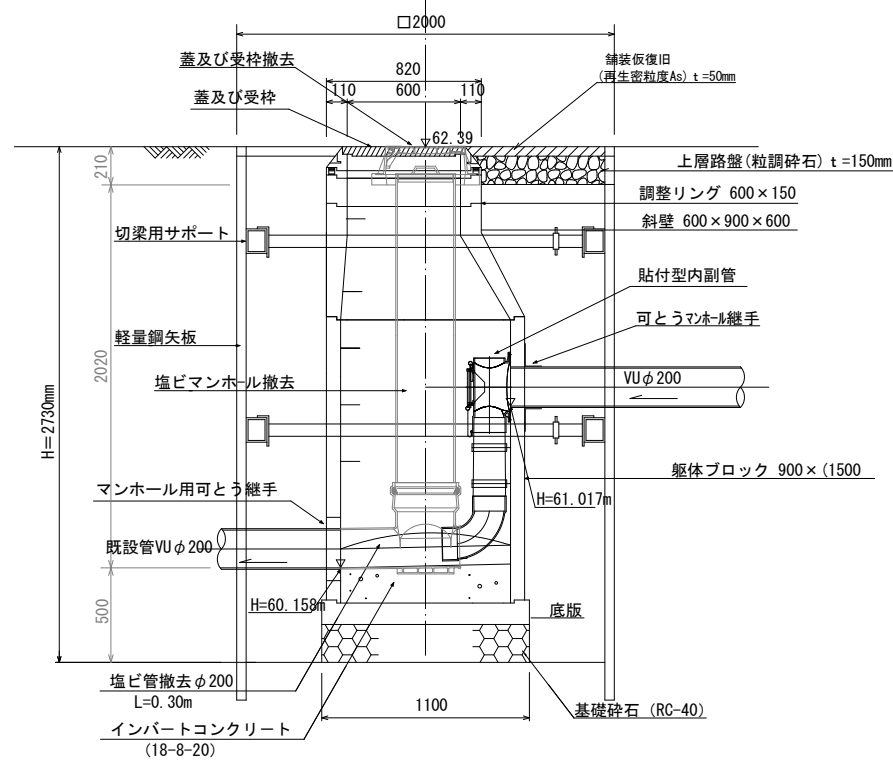


中間点・曲点

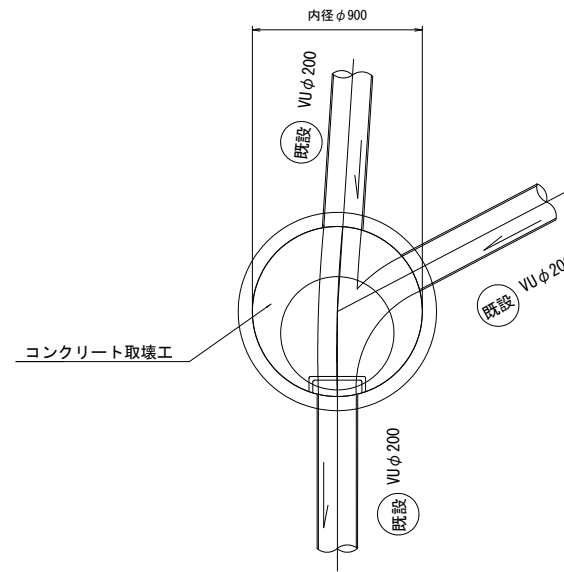
管路徑	インバート			屈曲角度(θ)		所用立管長 L (m)	
	略号	L1	L2	h	自在なし		自在使用
φ200	ST 200-300	180	290	255	0° ±1°	0° ~15°	H-0.56
	15L 200-300	200	290	255	15° ±1°	15° ~30°	
	30L 200-300	200	290	255	30° ±1°	30° ~45°	
	45L 200-300	200	290	255	45° ±1°	45° ~60°	
	60L 200-300	200	290	255	60° ±1°	60° ~75°	
	75L 200-300	200	290	255	75° ±1°	75° ~90°	
90L 200-300	200	290	255	90° ±1°	90° ~105°		

令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業			
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)			
加東市 吉馬地内 ほか			
図面名	塩ビ製小型マンホール構造図	図面番号	6
縮尺	S=1/10		10
加東市			

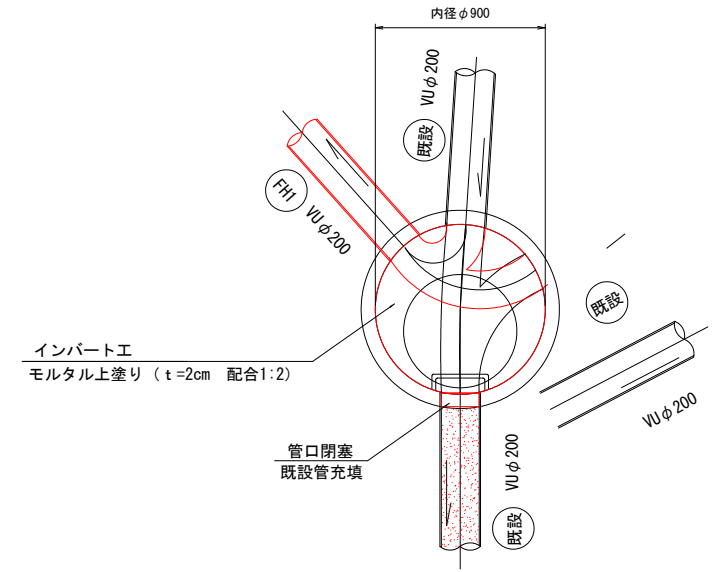
No. 0



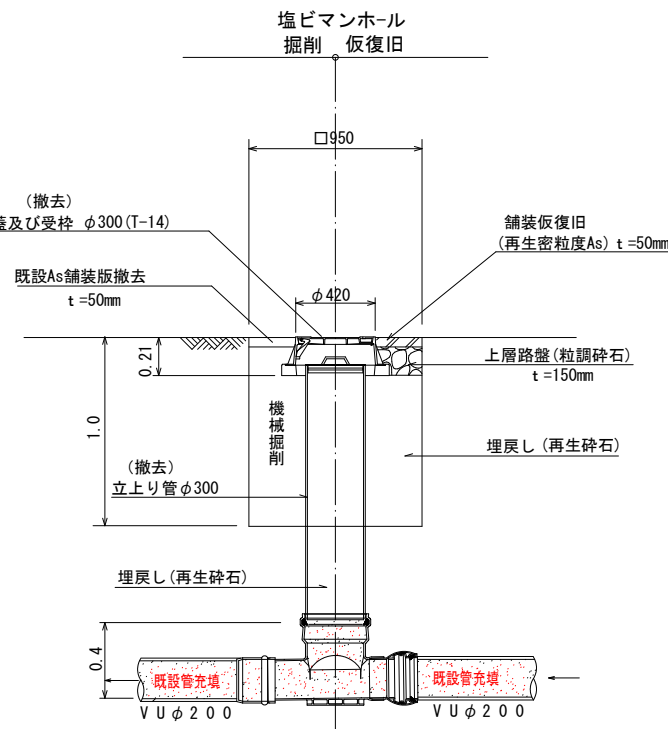
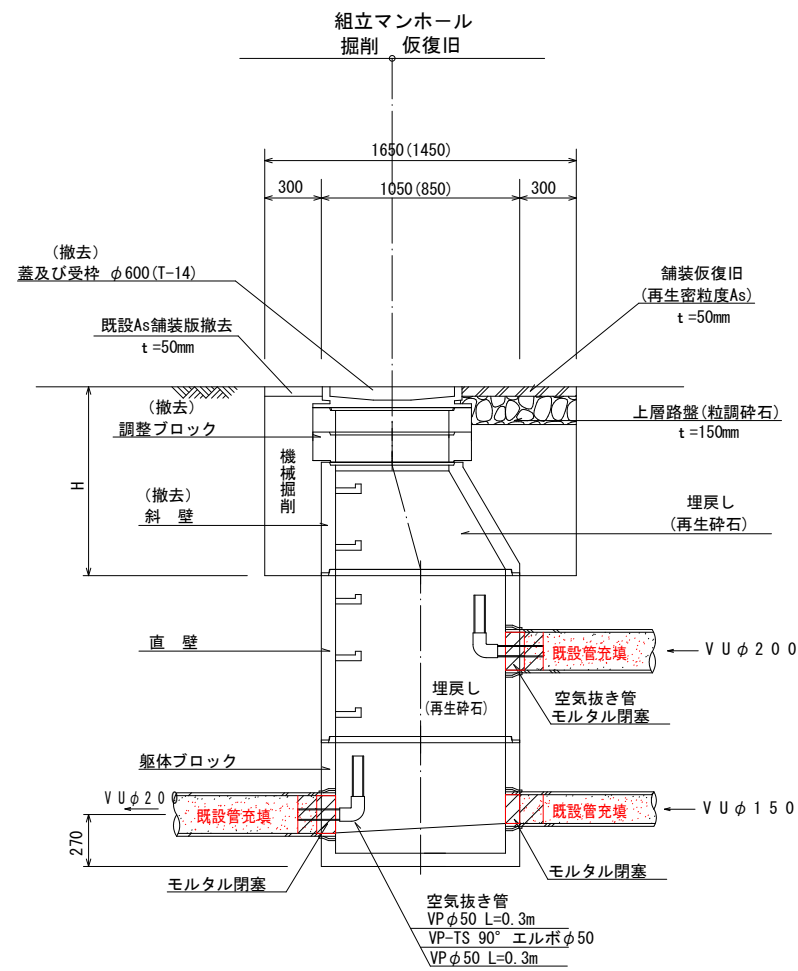
現況平面図



改修平面図



既設管充填・既設人孔撤去 S=1/20

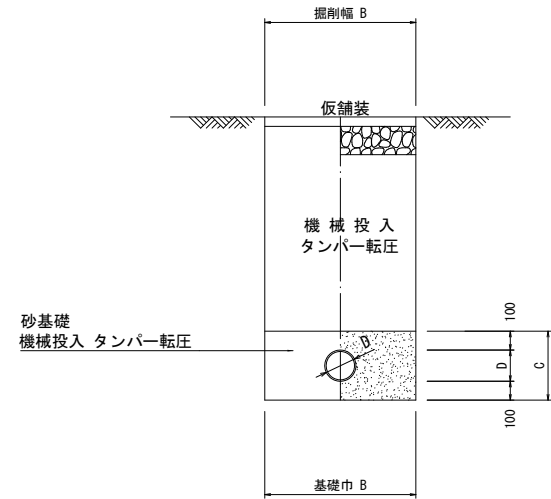


※( )内は楕円マンホール短辺側

令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業		
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)		
加東市 吉馬地内 ほか		
図面名	既設マンホール改造工 既設管充填・既設人孔撤去	図面番号
縮尺	S=1/20	7 / 10
加東市		

# 土工及び土留工標準図

土工標準断面図 S=1:20

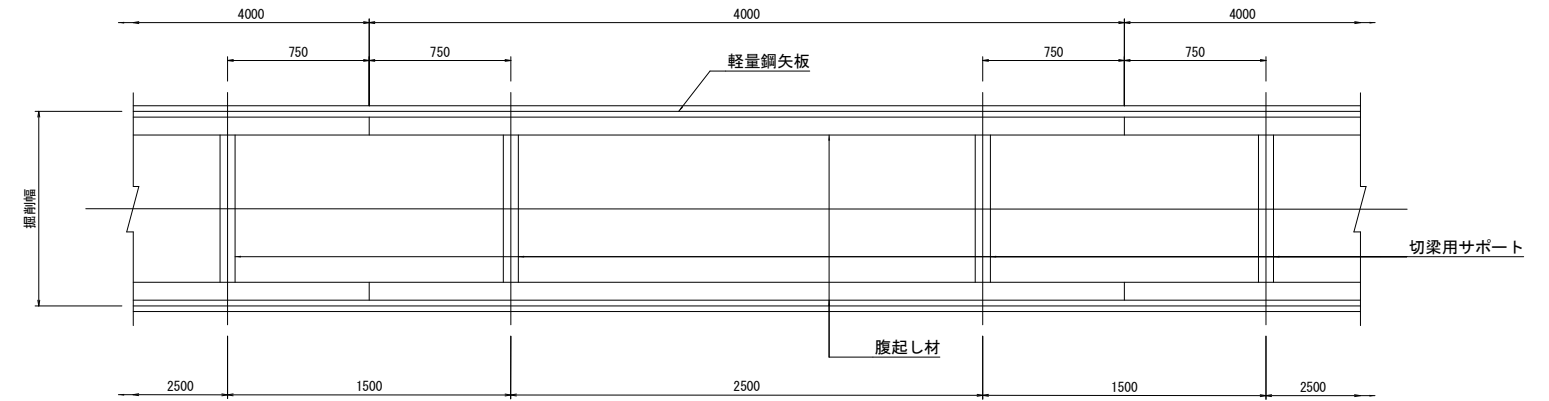


呼び径 mm	管外径 D mm	基礎高 C mm	基礎幅 B			備考
			1.5 $\geq$ H 素掘 m	1.51<H $\leq$ 3.30 軽量建込 m	3.31<H $\leq$ 3.80 軽量建込 m	
VU200	216	416	0.85	1.05	1.20	

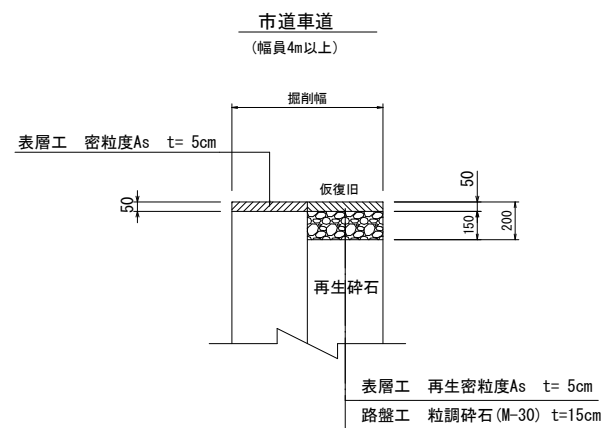
軽量鋼矢板建込工標準構造図 S=1:20

(参考図)

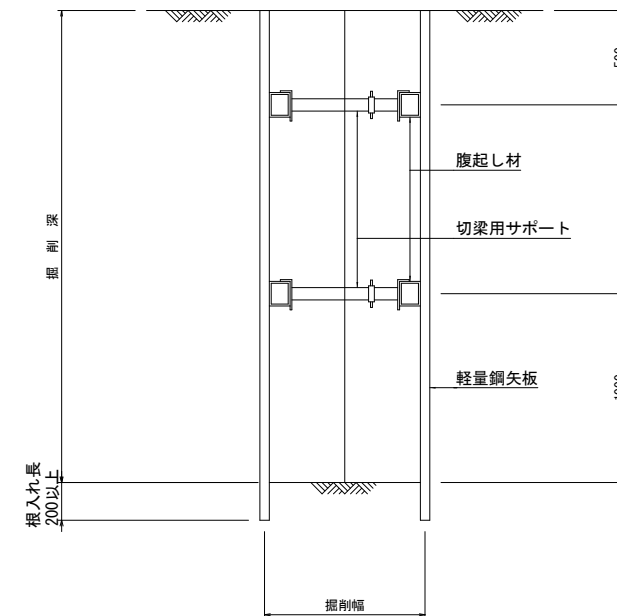
平面図



舗装復旧標準断面図 S=1:20



断面図



軽量鋼矢板 長さ

掘削深 1.80m以下	軽量鋼矢板 L=2.00m
掘削深 2.30m以下	軽量鋼矢板 L=2.50m
掘削深 2.80m以下	軽量鋼矢板 L=3.00m
掘削深 3.30m以下	軽量鋼矢板 L=3.50m
掘削深 3.80m以下	軽量鋼矢板 L=4.00m

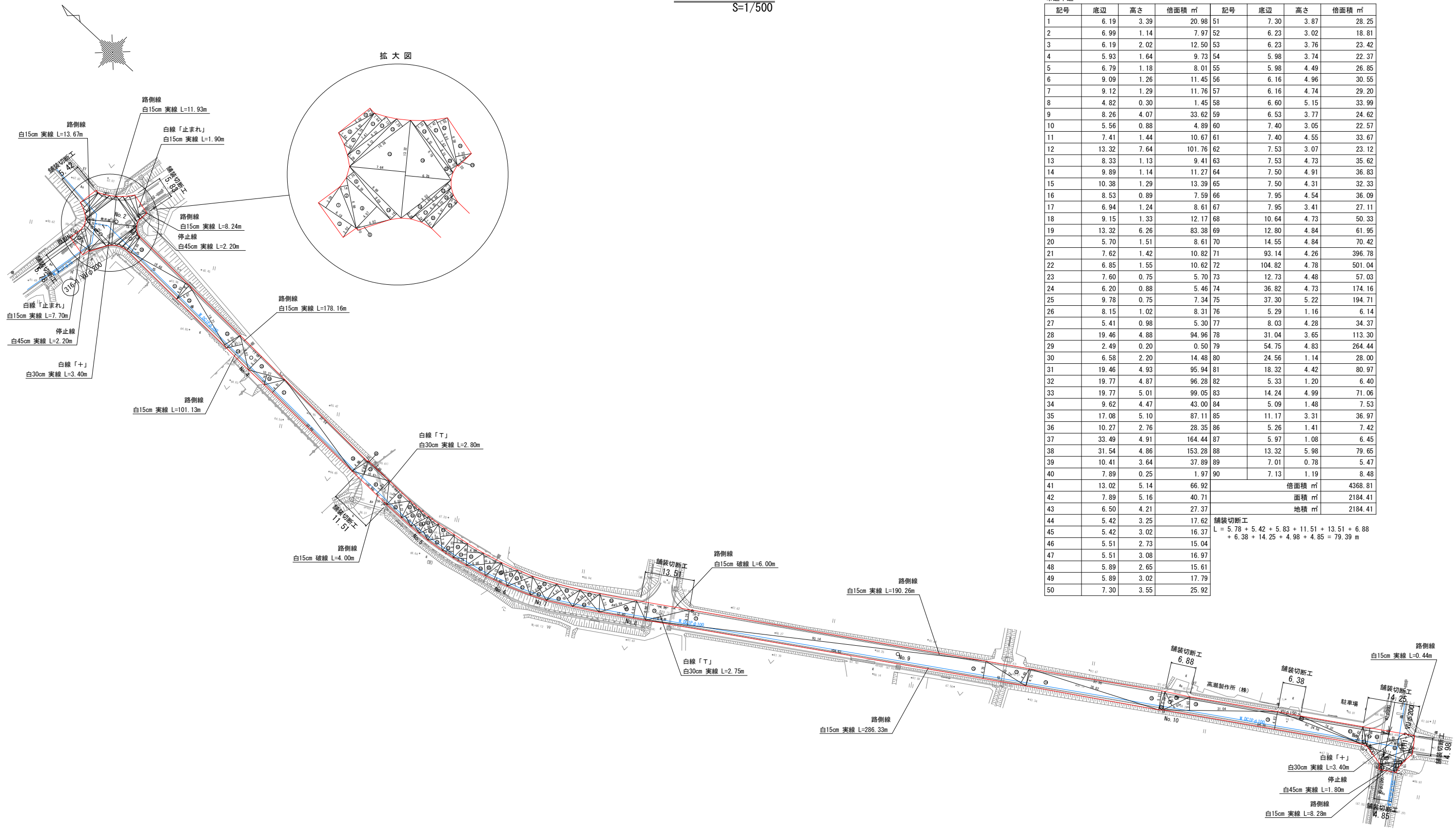
支保工 段数

掘削深 2.00m以下	支保工 1段
掘削深 3.50m以下	支保工 2段

令和 5 年度 社会資本整備総合交付金事業		
上福田北部地区処理場統合整備工事 (1)		
加東市 吉馬地内 ほか		
図面名	土工及び土留工標準図	図面番号
縮尺	S=1/20	8 / 10
加東市		

# 舗装復旧図

S=1/500



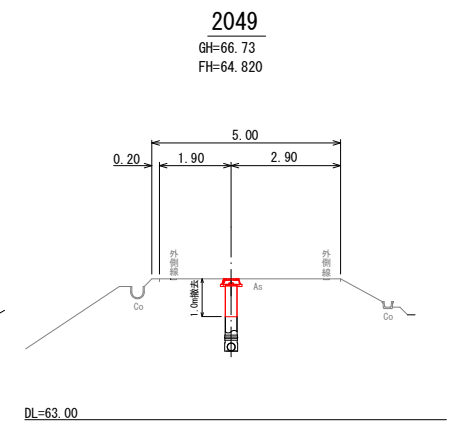
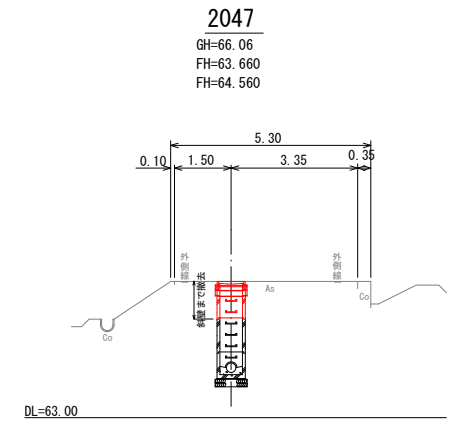
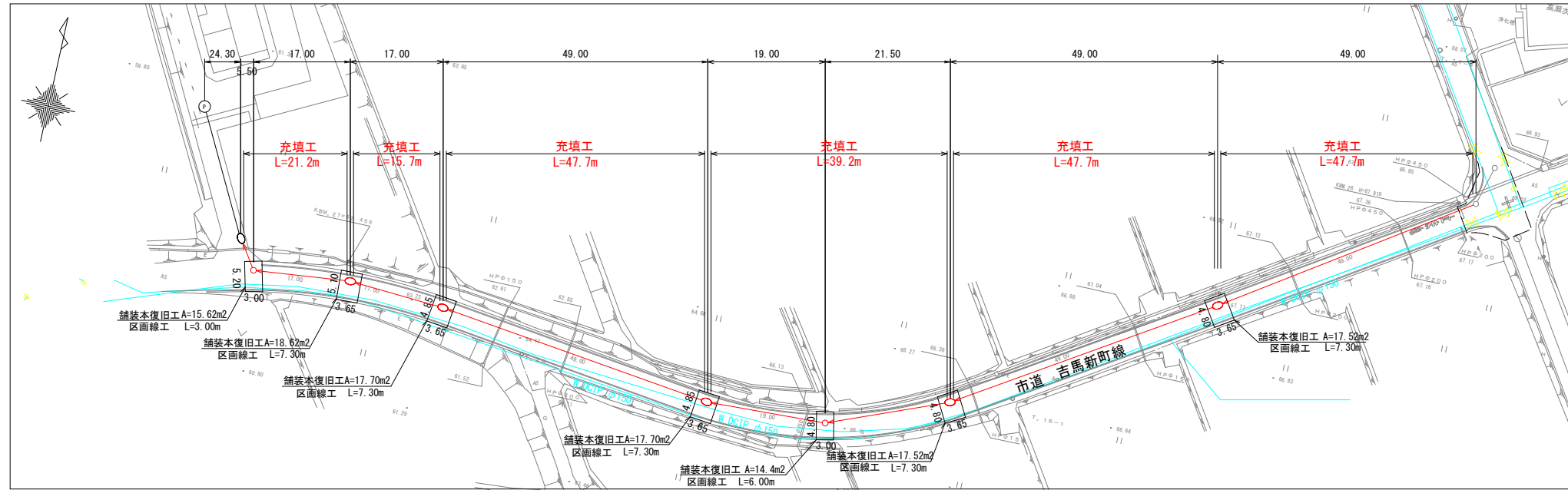
市道車道								
記号	底辺	高さ	倍面積 m <sup>2</sup>	記号	底辺	高さ	倍面積 m <sup>2</sup>	
1	6.19	3.39	20.98	51	7.30	3.87	28.25	
2	6.99	1.14	7.97	52	6.23	3.02	18.81	
3	6.19	2.02	12.50	53	6.23	3.76	23.42	
4	5.93	1.64	9.73	54	5.98	3.74	22.37	
5	6.79	1.18	8.01	55	5.98	4.49	26.85	
6	9.09	1.26	11.45	56	6.16	4.96	30.55	
7	9.12	1.29	11.76	57	6.16	4.74	29.20	
8	4.82	0.30	1.45	58	6.60	5.15	33.99	
9	8.26	4.07	33.62	59	6.53	3.77	24.62	
10	5.56	0.88	4.89	60	7.40	3.05	22.57	
11	7.41	1.44	10.67	61	7.40	4.55	33.67	
12	13.32	7.64	101.76	62	7.53	3.07	23.12	
13	8.33	1.13	9.41	63	7.53	4.73	35.62	
14	9.89	1.14	11.27	64	7.50	4.91	36.83	
15	10.38	1.29	13.39	65	7.50	4.31	32.33	
16	8.53	0.89	7.59	66	7.95	4.54	36.09	
17	6.94	1.24	8.61	67	7.95	3.41	27.11	
18	9.15	1.33	12.17	68	10.64	4.73	50.33	
19	13.32	6.26	83.38	69	12.80	4.84	61.95	
20	5.70	1.51	8.61	70	14.55	4.84	70.42	
21	7.62	1.42	10.82	71	93.14	4.26	396.78	
22	6.85	1.55	10.62	72	104.82	4.78	501.04	
23	7.60	0.75	5.70	73	12.73	4.48	57.03	
24	6.20	0.88	5.46	74	36.82	4.73	174.16	
25	9.78	0.75	7.34	75	37.30	5.22	194.71	
26	8.15	1.02	8.31	76	5.29	1.16	6.14	
27	5.41	0.98	5.30	77	8.03	4.28	34.37	
28	19.46	4.88	94.96	78	31.04	3.65	113.30	
29	2.49	0.20	0.50	79	54.75	4.83	264.44	
30	6.58	2.20	14.48	80	24.56	1.14	28.00	
31	19.46	4.93	95.94	81	18.32	4.42	80.97	
32	19.77	4.87	96.28	82	5.33	1.20	6.40	
33	19.77	5.01	99.05	83	14.24	4.99	71.06	
34	9.62	4.47	43.00	84	5.09	1.48	7.53	
35	17.08	5.10	87.11	85	11.17	3.31	36.97	
36	10.27	2.76	28.35	86	5.26	1.41	7.42	
37	33.49	4.91	164.44	87	5.97	1.08	6.45	
38	31.54	4.86	153.28	88	13.32	5.98	79.65	
39	10.41	3.64	37.89	89	7.01	0.78	5.47	
40	7.89	0.25	1.97	90	7.13	1.19	8.48	
41	13.02	5.14	66.92					倍面積 m <sup>2</sup> 4368.81
42	7.89	5.16	40.71					面積 m <sup>2</sup> 2184.41
43	6.50	4.21	27.37					地積 m <sup>2</sup> 2184.41
44	5.42	3.25	17.62					舗装切断工
45	5.42	3.02	16.37					L = 5.78 + 5.42 + 5.83 + 11.51 + 13.51 + 6.88
46	5.51	2.73	15.04					+ 6.38 + 14.25 + 4.98 + 4.85 = 79.39 m
47	5.51	3.08	16.97					
48	5.89	2.65	15.61					
49	5.89	3.02	17.79					
50	7.30	3.55	25.92					



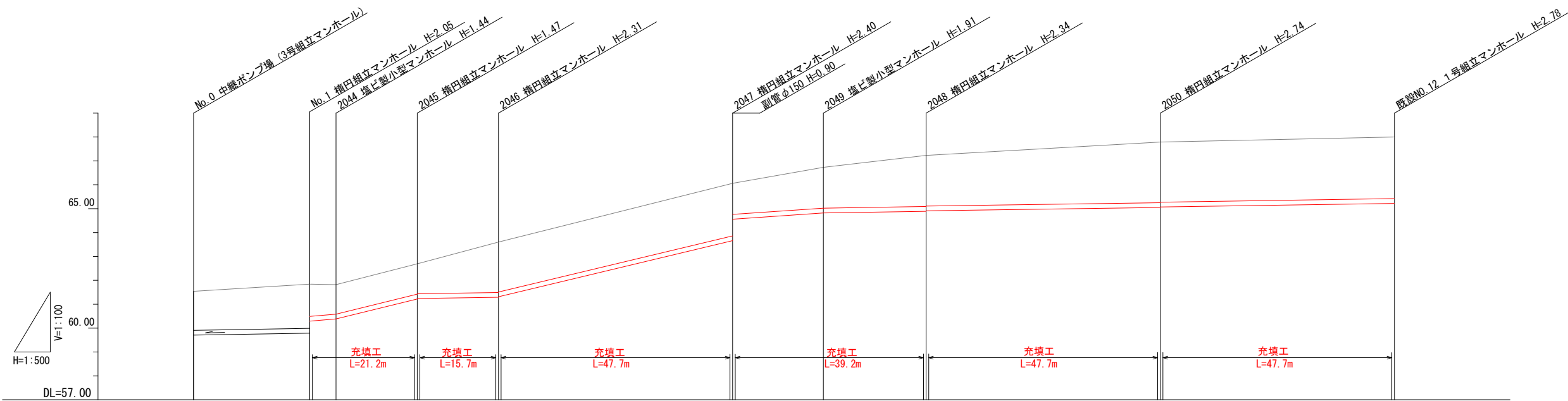
平面図 S=1:500

既設污水管

横断図 S=1:100



縦断図 V=1:100  
H=1:500



路線番号	①										
管径 (mm)	VU200										
勾配 (%)	3.5	17.3	49.2	3.0	48.0	13.7	3.3	2.9	2.9		
路線距離	251.30										
地盤高 (m)	61.54	61.84	61.82	62.69	63.60	66.06	66.73	67.23	67.79	67.99	
土被り (m)	1.62	1.84	1.22	1.26	2.10	2.19	1.70	2.13	2.53	2.57	
管底高 (m)	59.705	59.789	60.385	61.220	61.290	63.660	64.820	64.890	65.050	65.210	
区間距離 (m)	0.00	24.30	5.50	17.00	17.00	49.00	19.00	21.50	49.00	49.00	
追加距離 (m)	0.00	24.30	29.80	46.80	63.80	112.80	131.80	153.30	202.30	251.30	
測点	No. 0	No. 1	2044	2045	2046	2047	2049	2048	2050	2051	